

連谷

RENGO

弁理士連合クラブ会報

No.35
2025

目次

巻頭言

弁理士連合クラブ幹事長	笹野 拓馬	2
-------------	-------	---

ご挨拶

日本弁理士会会長	鈴木 一永	4
日本弁理士クラブ幹事長	石橋 良規	5
西日本弁理士クラブ幹事長	中川 雅博	7
弁理士同友会幹事長	伊賀 誠司	8
弁理士クラブ幹事長	櫻田 賢	10

会務報告

日本弁理士会副会長	今堀 克彦	12
日本弁理士会副会長	高下 雅弘	14
弁理士連合クラブ副幹事長	中原 文彦	16
弁理士連合クラブ副幹事長	濱田百合子	18
弁理士連合クラブ副幹事長	小國 泰弘	19
令和6年度弁理士連合クラブのあゆみ		21
総務委員会		23
政策委員会		25
企画委員会		27
役員協議委員会		28
研修委員会		30

親睦会報告

第32回連合旅行会・ゴルフ大会		31
-----------------	--	----

資料

令和6年度弁理士連合クラブ役員		36
弁理士連合クラブ歴代役員		38
弁理士連合クラブ会則		65
弁理士連合クラブ慶弔規則		68
「特別寄付金」を求めるときの運用基準		69

編集後記

		70
--	--	----

表紙「題字」 山川 政樹 「写真」 宇奈月温泉 やまびこ遊歩道 笹野 拓馬

連合の活動の充実と 三派体制の確立に向けて



弁理士連合クラブ幹事長
笹野 拓馬

機関誌「連合」No.35の発行にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

令和6年度の弁理士連合クラブは、コロナ禍で定着したウェブ会議を併用しながらも、対面での交流を活発化させ、効率的で円滑な運営を行うことを念頭に置き、活動目標として、昨年度と同様、「弁理士連合クラブの活動の充実」、「日本弁理士会への強力な支援」、並びに「日本弁理士会の支援のための三派体制の確立」を掲げて活動しました。

まず、「弁理士連合クラブの活動の充実」に関してですが、本年度は2年に一度の日本弁理士会会長選挙の年であって、会長候補は西日本弁理士クラブからの擁立となりました。会長候補の擁立に際しては、三派合同での政策検討が都合4回行われ、その都度、単位クラブの政策委員会に諮った後、連合政策委員会で議論いただき、連合としての意見をまとめ、政策検討会の場では、まとめた意見を基に三派で意見交換を行いました。

役員選挙では、会長候補として、西日本弁理士クラブから擁立された北村修一郎候補の共同推薦を行い、無事当選となりました。一方で、副会長は投票選挙に突入、関東選挙区の常議員は当クラブと日本弁理士クラブで1名ずつ降ろすことで投票選挙を回避し、結果として、当クラブ推薦の副会長2名全員

の当選、常議員と監事は無投票でそれぞれ5名と1名の当選となりました。役員選挙では、当クラブ内の役員協議委員の先生方だけではなく、単位クラブの幹事長や選挙に関わる先生方とも密に会合を持ち、一丸となって戦うことができたのではないかと感じております。

弁理士クラブの櫻田賢幹事長、弁理士同友会の伊賀誠司幹事長をはじめ、ご協力いただきました先生方、並びに常議員候補者を1名取り下げる英断をいただいた弁理士同友会の立候補者と所属会派の弁理士同友会に感謝を申し上げます。

本年度の親睦旅行会は富山県の宇奈月温泉にて実施しました。親睦をより深めていただく事を企図して大部屋を復活させ、恒例の研修会・ゴルフ大会も企画し、遠方ではありましたが多くの先生方にご参加いただきました。予期せぬ新幹線の遅延により研修会の実施は叶いませんでしたが、企画委員の先生方には多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、当選祝賀会においても、投票選挙を戦い抜いたこともあり、多く先生方にご出席いただき、盛況のうちに終えることができました。これも偏に会員の皆様のご理解とご協力の賜物であり、深謝申し上げます。

「日本弁理士会への強力な支援」については、日

本弁理士会委員会等の次年度人事検討委員会における会員の推薦等を中心とする人事面での支援と政策提言、要望書の提出等を行いました。また、本会の総会議案等を含む様々な検討が本会執行役員会から要請されましたので、単位クラブの政策委員会に諮った後に、連合政策委員会で意見を集約し、意見を本会に提出しました。

そして、「日本弁理士会の支援のための三派体制の確立」については、日本弁理士クラブ及び西日本弁理士クラブの旅行会、新旧役員慰労激励会、選挙当選祝賀会といった定例行事の他、会長選挙に向けた三派合同での政策検討会や選挙対応に関する会合等を通じて、意見交換や情報交換を行い、有意義な三派交流を図ることができました。

こうして一年を振り返ってみますと、会長選挙の年ということもあり、選挙関連の会合に終始した一年であったような感じがしています。事業を進めるため、各委員会の委員の先生方、単位クラブの先生方には無理なお願いをすることが多々ありましたが、どうにかやりきることができました。これも皆様のご支援とご協力のお陰です。改めて感謝を申し上げます。また、当クラブが、日本弁理士クラブ、西日本弁理士クラブと伍していくためには、単位クラブのご協力なくしては成り立ちません。引き続き、両単位クラブとの共同作業を通じて結束を深めていくことを切に願ってやみません。

最後になりますが、令和6年度の弁理士連合クラブの副幹事長として、政策・調整をご担当頂いた濱田百合子先生、企画・研修をご担当頂いた小國泰弘先生、総務・役員協議をご担当頂いた中原文彦先生をはじめとして当クラブの各委員会の委員の先生方には、当クラブの運営に多大なるご協力を賜りました。先生方のご尽力がなければ、当クラブの活動は立ち行きませんでした。心よりお礼申し上げます。

ありがとうございました。令和7年度は、茜ヶ久保公二幹事長の下で、より活発な活動が展開されることを期待して、私のごあいさつの結びとさせていただきます。



連合弁理士クラブ令和7年新年ご挨拶



日本弁理士会会長
鈴木 一永

新年あけましておめでとうございます。

連合弁理士クラブの皆様には、日頃より日本弁理士会の会務運営に多大なご協力をいただきまして大変ありがとうございました。

本年は、昨年末から数えて9連休となる人が多くなり比較的ゆっくりと新年が明けたような印象がございませう。しかしながら、日本弁理士会全体の会務は、1月6日から開始され、その同じ週には次年度会務検討委員会、執行役員会が開催され、次年度人事検討委員会が立ち上がります。さらに第3週の16日には、特許庁をはじめとした知財関連団体の方々をお招きして日本弁理士会の新年賀詞交歓会を開催いたしました。

さて、本年度は、昨年4月1日から新年度の日本弁理士会の活動を開始し、同年5月末に開催した定期総会において令和5年度の決算及び活動報告、令和6年度の予算及び事業計画を承認していただきました。その後、日本弁理士会と所在地が同様の関東会を除く8地域会を回り各地の経済産業局、各地方自治体の知的財産を取り扱う部署、各地域会に対応する商工会議所に令和6年度会長就任・新役員会のあいさつ回りを行い、7月末に各地域会回りが終了しました。

この間、我々をめぐる経済的な環境は、輸入依存度の高い資源、資材等の値上げ、生活関連商品の値上げを誘発し、多くの物品の物価を押し上げ、円安の進行とさらなる値上げラッシュを招くに至っており、価格転嫁が困難な中小零細企業の経営をますます圧迫しています。かかる中で、大企業を中心とし

て一定の賃上げが進み、この傾向は、徐々にではありますが中小企業にも波及しつつあるものの、本年1月の東京商工会議所賀詞交歓会での会頭の年頭あいさつでは、まだまだ十分な価格転嫁は進んでいないとの見方が提示されております。一方、我々弁理士に直接的に関連のある産業財産権の出願状況は、皆様もご存じのように、依然として停滞傾向が続いており、大幅な増加は望めない状況と言わざるを得ません。

このような状況下、令和6年度の執行役員会は、「将来の安定性を確保するための礎を築きます！」との昨年度のスローガンを再度掲げるとともに、「～築いてきた礎を次世代に継承する仕組みを整えます～」と言うサブスローガンをかけ、昨年12月までの会務活動をすすめて参りました。

また、日本弁理士会として能登半島地震に対する災害対応を行う中で、会としての連絡網の脆弱さ、災害支援制度の不十分さ等、平時では中々気が付かない問題点が顕在化したため、その是正も新たな課題としてその改善を行うことになり、本年度中の例規改正又は取り扱いを変更する準備を検討いたしており、間に合うのであれば本年3月に予定する臨時総会に挙げる予定を立てております。

本令和6年度も残すところ3か月となりました。現役員会一同任期最後まで全力で活動をすすめ、次年度役員会に適切な引継ぎを行って、日本弁理士会としての切れ目のない会務活動を進めて参りますので引き続きご協力のほどよろしく願いいたします。

以上

新しい時代の幕開けか？！



日本弁理士クラブ幹事長
石橋 良規

1. はじめに

令和6年度日本弁理士クラブ幹事長を務めました石橋良規です。この度は、貴クラブの機関誌に挨拶を掲載いただき誠にありがとうございます。貴クラブとご一緒させていただいた活動のいくつかをご紹介します。

2. 弁理士連合クラブの皆様とご一緒させていただいた活動

いただいた活動

(1) 日本弁理士会への人事協力

(次年度人事検討委員会)

日本弁理士会への人事協力は、我々「会派」の重要な役割であり、これまでも、いわゆる「会派」は、日本弁理士会の委員会、附属機関や地域会に優秀な人材を推薦してきました。令和6年度も日本弁理士クラブ（以下「日弁」とします。）出身の鈴木一永日本弁理士会会長、およびその執行部を支えるべく、貴クラブおよび西日本弁理士クラブ（以下「西弁」とします。）と連携し、人事協力をいたしました。具体的には、令和6年1～3月に開催された次年度人事委員会において、多くの「会派」の先生方を種々のポストに推薦させていただきました。推薦にあたっては、貴クラブの笹野幹事長、弁理士クラブの櫻田幹事長、弁

理士同友会の伊賀幹事長をはじめ、たくさんの先生方にお世話になりました。ありがとうございました。

(2) 日本弁理士会役員選挙

令和6年度は日本弁理士会会長選挙の年であることもあり、早々に準備を開始しました。具体的には、令和5年度中に西弁さんから「会長候補擁立の意思がある」との連絡をいただいていたことから、このことを日弁各派に周知するとともに、日弁各派の意向を確認、調整を行い、5月の幹事会にて、令和6年度の日本弁理士会会長選挙においては、日弁からは会長候補を擁立せず、西弁さんが擁立する北村先生を推薦することを決定いたしました。その後、貴クラブにおかれましても西弁の北村先生を推薦することを機関決定いただき、三派による共同推薦という形を作ることができました。その結果、会長選挙においては西弁の北村先生が無投票当選となりました。

一方で、日本弁理士会副会長選挙にあつては、予想外の立候補者の出現により投票選挙となりましたが、三派で情報共有しつつ選挙戦を戦い抜くことができた結果、貴クラブが推薦された高田先生と権正先生をはじめ、西弁さんが推薦された2

名の先生方、および日弁が推薦した4名の先生方、全員の当選を勝ち取ることができました。

また、関東ブロック常議員および監事の選挙についても、貴クラブと事前に協議の場を持たせていただいたお蔭様により、投票選挙を回避することができました。

令和6年度の役員選挙にあたり、貴クラブの笹野幹事長はもとより役員協議委員会の先生方には大変お世話になりました。ありがとうございました。

(3) 会長候補予定者（西弁：北村先生）の

マニフェストへの関与

上記の通り、貴クラブのご協力のお蔭様により、西弁さんが擁立する会長候補を推薦することについて比較的早い段階で決定できたことにより、会長候補予定者のマニフェストに積極的に関与することができました。具体的には、貴クラブ、西弁さん、および日弁の代表メンバーにて「三派合同政策検討会」を2回（7月と8月にそれぞれ1回ずつ）行うことができました。

過去にも「三派」が会長候補予定者を共同推薦することはありましたが、マニフェストを三派で本格的に検討したことはなかったと思われ、一歩進んだ協力体制を築けたと考えます。

なお、三派合同政策検討会を開催するにあっても、貴クラブの笹野幹事長をはじめ、多くの先生方（たとえば、弁理士同友会の古谷先生や弁理士クラブの永井先生などなど・・・）、にご協力をいただきました。

(4) 旅行会

令和6年度は、長く続いた「コロナ禍」の終息にともない、三派ともに、久しぶりに温泉地での、「ザ・旅行会」が開催されました。

我々日弁は6月に栃木県の鬼怒川温泉にて、西弁さんは7月に石川県の加賀山代温泉にて、そして貴クラブは9月に富山県の宇奈月温泉にて、それぞれ行われた三派の旅行会は、いずれも大盛況であり、温泉に入り、美味しい料理を食べ、歌い、語り合いました。

3. おわりに

令和6年度は例年にも増して「三派」が結束できた1年だったように思います。そして、上記のとおり、会長候補予定者のマニフェストを「三派」で検討したのは「はじめて」でしたし、そもそも西弁さんから会長がでるのも「はじめて」でした。

新しい時代の幕開けを感じますっ！

こんなタイミングで日弁幹事長ができたことをうれしく思います。大変お世話になりありがとうございました。なお、令和7年度の日弁幹事長は、長濱範明が務めます。これまでと変わらぬご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。



新たな協力体制



西日本弁理士クラブ幹事長
中川 雅博

令和6年度西日本弁理士クラブ幹事長の中川雅博です。このたびは、弁理士連合クラブ様のクラブ誌におきまして挨拶の機会を賜り、ありがとうございます。

令和6年度は、西日本弁理士クラブにとって記念すべき年となりました。クラブ創設以来初めて、令和7年度の日本弁理士会会長として北村修一郎先生を擁立することができたのです。この歴史的な成果に至るまでには、昨年来より弁理士連合クラブの多くの先生方との数多くの対話を重ねました。特に、弁理士連合クラブの笹野拓馬幹事長、中原文彦副幹事長、濱田百合子副幹事長、小國泰弘副幹事長には多大なご協力を賜り、心より感謝申し上げます。中でも笹野幹事長には、課題が生じるたびに多くの助言とご尽力をいただきました。

皆様との対話を通じて得られた知見や調整の過程は、私自身の成長にも繋がり、また、多くの先生方との出会いは私の人生におけるかけがえのない財産となりました。

本年度の特筆すべき出来事として、三派による政策協議の実現が挙げられます。西日本弁理士クラブが提案した政策について、弁理士連合クラブおよび日本弁理士クラブのご協力を得て、協議が行われました。これの実現に向けて多大なご尽力をいただいた笹野幹事長をはじめとする幹事会の皆様へ、改めて感謝申し上げます。政策協議では、両クラブの政策担当の先生方にお集まりいただき、多くの建設的なご意見をいただきました。また、協議の前段階として、弁理士クラブおよび弁理士同友会の政策委員会において、事前の検討が行われたと伺っておりま

す。貴重なお時間を割いていただいた先生方に、深く感謝申し上げます。この画期的な取り組みが、「会派が違えど目指す目標は一つ」という理念を体現し、会派間連携の新たな地平を切り拓いたことを、心より嬉しく思います。来年度以降も、この協力体制が日本弁理士会のさらなる発展に寄与することを期待しています。

話は変わりますが、弊クラブは会員数の減少という課題に直面しています。この課題に対応するため、登録10年未満の若手弁理士で構成される若手会を通じて、若手弁理士のクラブ参加を促進する取り組みを行っております。しかし、現状では十分な効果を上げているとは言えません。そこで、本年度は特に企業弁理士の参加を促進するため、経済的インセンティブを制度化しました。この新たな取り組みにより、企業弁理士がクラブ活動を通じて会務に参画し、日本弁理士会の活性化に寄与する環境が整うことを期待しています。今後は、企業弁理士のクラブ活動における役割を明確にするとともに、多様化を図ることで、弁理士制度のさらなる発展に貢献していきたいと考えています。

最後になりますが、本年度ともに幹事長の重責を担われた弁理士連合クラブ笹野拓馬先生、日本弁理士クラブ石橋良規先生に深甚なる感謝の意を表します。両先生の多大なるご支援とご協力なくしては、この一年の職務を全うすることはできませんでした。

今後も弁理士連合クラブの会員の皆様とともに、切磋琢磨しながら日本弁理士会の更なる発展に貢献できることを心より願っております。

役員選挙に翻弄された 激動の1年でした。



弁理士同友会幹事長
伊賀 誠司

令和6年度弁理士同友会の幹事長を務めさせていただきました伊賀誠司です。

今年度、笹野拓馬幹事長を始めとする弁理士連合クラブの皆様には、大変お世話になりました。先ずは、この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

今年は新年早々に、令和6年度日本弁理士会副会長へ就任予定でありました当会大橋剛之先生の体調不良に伴う副会長辞退を受けて、副会長の再選挙となりました。大橋先生を推薦した責任会派として同友は代わりの候補を立てなければならず、立候補者の選出に苦勞しましたが、高下雅弘先生に立候補のご英断を頂くことができましたので、同友での総会決議後、弁理士連合クラブ様でも定時総会前に異例の臨時総会を2月早々に開催して頂き、高下先生を弁理士連合クラブ推薦の副会長候補としての決議を頂き、送り出すことができました。高下先生の弁理士連合クラブ推薦としての立候補のために迅速にご活動頂いた弁理士連合クラブの執行部の皆様、又、臨時総会にご協力頂いた弁理士クラブの皆様には、心より深く感謝申し上げます。おかげ様で、無事無投票にて高下先生を令和6年度日本弁理士会副会長に当選させて頂くことができました。

さて、副会長再選挙が終わったのも束の間、今年度は令和7年度の日本弁理士会会長選挙がある年でも

あり、すぐに会長選挙に向けての活動が活発化しました。特に、同友としても、西日本弁理士クラブ様から次年度会長を擁立したいとの申し出を早くから受けておりました。そのため、今年度は会長選挙もあり得るものと想定をしておりましたが、日本弁理士クラブ様が早々に会長候補を出さない方針を決断され、三派で西弁推薦の会長候補を応援し、協力しようとなりましたので、会長選挙は回避される見通しとなりました。そして、連合での会長共同推薦に関しては、その後に何度か開催された西弁による政策説明会や三派による合同政策検討会を経て、8月14日の連合定時総会において、西弁の北村修一郎先生を会長候補として共同推薦することに賛成させて頂きました。なお、上記合同政策検討会では、同友からも色々と意見を述べさせて頂きました。次年度弁理士会会務の政策を三派で協議することは初めての試みであり、次年度会務の政策に関し、色々と意見を述べさせて頂く貴重な機会を得たことは大変ありがたく感じました。

一方、平成7年度の副会長・常議員選挙についても日弁側と早くから交渉が開始されました。

そして9月になり選挙立候補期間となったところ、副会長選挙については、想定外の思わぬところからの立候補者があり、定員1名オーバーとなり選挙戦

が確定しました。一方、常議員については、定員2名オーバーとなりましたが、日弁と連合で1名ずつ調整し、選挙回避とすることができました。

副会長選挙においては、会派外立候補者の実力が分からず、大変厳しい選挙戦となりましたが、弁理士クラブ様のご協力を頂き、同友推薦の高田大輔先生も無事当選することができました。弁理士クラブ様の温かいご支援に改めて感謝申し上げます。また、常議員についても山木義明先生、駒場大視先生の2名の当選を果たす事ができました。この選挙戦を無事に終わられたのも、日弁や西弁と地道な交渉をして頂いた笹野連合幹事長を始めとする多くの方々のご尽力の賜物と改めて感謝致します。役員選挙における会派の重要性を改めて感じた次第です。

こうして役員選挙に翻弄された1年でしたが、今年度のその他の事業は、コロナ禍の影響もなく順調に各種行事が遂行され、同友からも多く参加させて頂きました。3月の名古屋・大阪での新旧役員慰労・激励会に始まり、6月には鬼怒川温泉での日弁の旅行会、7月には北陸加賀温泉での西弁の旅行会、そして9月には黒部宇奈月温泉での連合の旅行会が開催されました。この様にコロナ禍前に戻り、従前どおりの各会派の皆様との旅行会等において、忌憚のない意見交換や交流を行うことができたことは、大変喜ばしく思います。

また、同友会は11月に創立60周年記念式典・祝賀会を開催させて頂きました。この記念式典・祝賀会には、弁理士連合クラブ様及び弁理士クラブ様からも多くの方々にご参加頂きました。当該記念事業へのご参加・ご協力に改めて感謝申し上げます。おかげ様で盛会に開催することができました。

最後になりますが、この1年を通じて、弁理士連合クラブの幹事長笹野拓馬先生を始め、副幹事長の濱田百合子先生、小國泰弘先生、中原文彦先生には、

各種の情報提供等、あらゆる面でご尽力頂き、当会の会務にも大変ご協力を頂きました。また、特に、構成会派である弁理士クラブの幹事長櫻田賢先生には、同友の副会長選挙・創立60周年記念事業等の会務にも大変ご配慮頂き、多くのご支援を頂きました。今年1年、無事、同友の会務を遂行できたのも皆様のおかげと改めて心より感謝申し上げる次第です。本当にありがとうございました。



この1年を振り返って



弁理士クラブ幹事長
櫻田 賢

令和6年度弁理士クラブ幹事長を務めさせていただきました櫻田賢です。機関誌「連合」の発刊にあたり、一言御礼とご挨拶を申し述べさせていただきます。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され、コロナ禍による行動制限が完全に撤廃されました。さまざまな会務運営や会派活動がコロナ禍の前に戻り多くの会合がリアルで開催されると共に行動制限の時期に獲得したりリモート交流が併存するという新たな時代を迎えました。その一方、本年度は日本弁理士会の会長選挙も予定され、年明け早々に発生した能登半島地震や羽田空港で大規模な飛行機事故による波乱の1年を予感させる年となりました。そのような状況下で、何とかこの一年を乗り切ることができましたのは、弁理士連合クラブ及び弁理士同友会の役員の先生方、さらには弁理士クラブの多くの先生方のお陰であると実感しています。この場を借りて、心より感謝申し上げます。

上述の通り本年度は、会長選挙の年ということで、そして西日本弁理士クラブから会長選挙に候補者を立てるとの情報も耳に入っており、西日本弁理士クラブが前年度末から会長選挙の準備を進めていました。その一方、日本弁理士クラブも会長候補者を擁立するとの噂もあり、会長選挙が投票選挙となれ

ば弁理士連合クラブとしては難しい舵取りとなることが想定されていきました。そのため、3月上旬に行われた東海協議会及び西日本弁理士クラブの「現役員慰労会及び新役員激励会」では、各会派との交流を通じて最新情報を獲得し、この困難な状況を乗り切ることと全力で対応いたしました。特に、弁理士連合クラブの笹野幹事長と弁理士同友会の伊賀幹事長とは、密に連携を行い、弁理士連合クラブとして1枚岩で対応できるように協議を進めておりました。ところが数か月後に日本弁理士クラブは、会長選挙を回避するとのお話がありました。その後、三派で政策練り上げることとなり、三派で政策を作り上げることはこれまで前例がないとのことで、本年度は、画期的な試みが行われることになりました。弁理士連合クラブを構成する弁理士クラブの幹事長としては、とりあえず会長選挙が回避されるだろうとの状況に安堵するとともに、西日本弁理士クラブの政策立案に協力できるために弁理士クラブ内や弁理士連合クラブ内での政策のすり合わせを進めました。具体的には、西日本弁理士クラブの政策説明を受けて、弁理士連合クラブの政策・役協委員会で政策内容を精査して弁理士連合クラブの西日本弁理士会の政策に対する意見を表明いたしました。その後、7月と8月の2度にわたる三派の政策検討会を経て、政

策の立案に協力いたしました。弁理士クラブの会派内においては、弁理士クラブ拡大政策委員会を開催して、弁理士クラブの意見を集約して、弁理士連合クラブの意見に反映させました。弁理士クラブ幹事長として、弁理士連合クラブの意見に弁理士クラブで集約した多くの意見を採用していただき、弁理士連合クラブの先生方並びに弁理士同友会の先生方に厚くお礼申し上げます。

その一方、日本弁理士会の役員定時選挙では、上記の通り会長選挙は回避されましたが、副会長立候補者が1名定員をオーバーして投票選挙となりました。しかしながら、弁理士連合クラブが推薦する2名の候補者がいずれも500票を超える票数を獲得して、無事に当選することができました。他方関東地区の常議員の立候補者数は、定員を2名オーバーしていましたが、三派で事前に意見交換等が行われ、日本弁理士クラブ所属の先生と弁理士同友会所属の先生に立候補を撤回していただき、関東地区の常議員選を回避することができました。弁理士連合クラブの役協担当の先生方と弁理士同友会の役協担当の先生方に多大なご苦勞をおかけしたものと感じております。改めて御礼申し上げます。

また、本年は、弁理士連合クラブを構成する弁理士同友会の創立60周年の記念式典と祝賀会が開催されました。祝賀会では、弁理士クラブの多くのベテランの先生が参加すると共に弁理士同友会のベテランの先生方との交流が行われました。この交流を通じて、弁理士連合クラブの構成会派の会員同士相互の交流が実現いたしました。この誌面を借りて、改めて弁理士同友会の創立60周年のお祝いを申し上げます。

この一年間、弁理士クラブの幹事長として弁理士連合クラブに関わらせていただきましたが、これにより、より一層弁理士連合クラブ内の連携の必要性、

さらには他会派との意見交換を含めたコミュニケーションの必要性を大きく感じるとともに、三派の相互の協力により日本弁理士会が運営されていることを実感することになりました。日本弁理士会のさらなる発展に向けて、微力ながら、弁理士連合クラブの活動に今後も積極的にかかわっていきたいと考えております。

最後になりましたが、笹野幹事長をはじめとする弁理士連合クラブの役員及び委員の先生方、さらには伊賀幹事長をはじめとする弁理士同友会の先生方には本当にお世話になりました。心より御礼申し上げます。



「令和6年度の会務報告」



日本弁理士会副会長
今堀 克彦

1. はじめに

弁理士連合クラブよりご推薦をいただき、令和6年度の日本弁理士会副会長を務めさせていただいております、今堀克彦です。会誌「連合」の発刊にあたりまして、まだ任期の途中ではありますが、会務報告を行いたいと思います。

私は、附属機関、委員会等については、正担当として、中央知的財産研究所、弁理士推薦委員会、弁理士法改正委員会、産業標準委員会、知財活用検討委員会、総合企画政策委員会、知財・標準化一体的活用検討ワーキンググループ、事業棚卸しワーキンググループを担当しております。日頃より多くの弁理士連合クラブの先生方にご協力いただいております、この場をお借りして御礼申し上げます。

2. 会務報告

(1) 中央知的財産研究所

中央知的財産研究所では、「適正な範囲で特許を取得し権利行使を可能とするクレーム・明細書とは－権利成立段階と権利成立後の両面から－」、「標識法を中心とした知的財産法上の現代的課題」、「知的財産と経済－技術集約的なサプライチェーンにおける知財政策と競争政策の交錯－」の3つの研究課題について、研究部会で議論が重ねられています。研究部会での成果が別冊パテント誌に纏められ、会員の皆様には有益な情報として届けられています。

(2) 弁理士推薦委員会

外部の他の団体などから弁理士の推薦の依頼を受けた際に、推薦依頼要項に応じた募集を行い、適任の弁理士を推薦する活動を行っています。

弁理士推薦委員会を担当しておりますと、特許庁、裁判所、その他の外部団体から多くの弁理士推薦の依頼を受ける機会に触れることとなりますが、このことから弁理士が社会的に重要な場面が多く求められていることを実感することができます。そして、本委員会は、その求めに対して適切な人材を選定し、日本弁理士会の代表として当該人材を推薦することとなりますので、委員会での議論は非常に真剣なものになります。弁理士の職務を見つめ直す機会にもなり非常に有意義な委員会です。

(3) 弁理士法改正委員会

弁理士法改正委員会では、直近の弁理士法改正への対応や、今後の弁理士法改正のために必要な調査研究等を行っています。

本原稿の執筆時には、「知的財産制度及び弁理士制度の発展に向けた弁理士法改正への取り組みに関する検討（中長期的な取り組みを含む）」という審議委嘱事項に関して、農水知財及び特許出願の非公開制度に関する中間報告を取り纏めるとともに、関係附属機関・委員会等に対して弁理士法改正に向けて必要な情報の収集をお願いしています。今後は、イノベーション拠点税制への弁理士の関与等について検討を重ねていく予定です。

(4) 産業標準委員会、知財・標準化一体的活用 検討ワーキンググループ

産業標準委員会は、産業標準に関する調査・研究・検討、産業標準にかかるビジネスの企画・研究、これらに関する関係官庁、諸団体等への対処、調査研究成果物の内外への発表を行っています。

「標準化」は企業内で取り扱われるため、本委員会には企業所属の会員や、企業で標準化作業に従事された経験をお持ちの会員が比較的多く所属しています。他の実務系委員会とはやや異なる視点から知的財産と向き合うことになり、非常に興味深く感じます。

また、本委員会に関連して、知財・標準化一体的活用検討ワーキンググループが設置されており、その設置目的は、「日本型標準加速化モデル」の実現に向け、弁理士及び日本弁理士会が貢献できる事項につき、検討及び提言を行うことに関連し、執行役員会が実施する関係各所との折衝その他の手続等の支援を行うこととなります。特に、経済産業省の標準化部門との折衝が多くなり、その中で日本弁理士会及び会員弁理士の標準化への一層の取り組みへの期待を感じております。

(5) 知財活用検討委員会

知財活用検討委員会は、知財の紛争処理を含む知財活用に関する政策提言や調査・研究を職務権限とする委員会です。本年度は、知財訴訟における効果的な訴訟進行に関する検討と、知財訴訟以外の知財紛争処理システムに関する検討を行っており、今後、知財高裁との意見交換も実施予定です。

また、当委員会の職務権限には、「日本知的財産仲裁センター事業を支援するための措置を講ずること」が含まれています。日本知的財産仲裁センター（JIPAC）は、日本弁理士会と日本弁護士連合会とが共同運営する組織であり、その共同運営を日本弁理士会側からサポートするのが本委員会の役目となります。JIPACに関してはJPドメイン紛争の解決機能も有しており、更にドメイン紛争に関し扱える領域の拡張を検討しているところです。

(6) 総合企画政策委員会

総合企画政策委員会は他の委員会と若干異なった職務権限を有しており、それが「他の委員会に属さない日本弁理士会会務全般に関する事項の調査研究並びに審議立案」、というものになります。この職務権限にあるとおり、「他の委員会に属さない日本弁理士会会務全般に関する事項」が本委員会の活動対象ですので、言い換えれば、非常に幅広い検討を求められる委員会とも言えます。

本年度は、弁理士報酬に関する実態調査とその適正化のための情報公開等の検討、弁理士の社会貢献活動への参加促進の検討、会員の弁理士業務への適正対応に必要な日本弁理士会の組織的な方策の検討、弁理士法人への出資に関する検討、会員の有料マッチングサイトの利用に関する検討を行っています。これらの検討事項は、法により専権が付与されている弁理士がどうあるべきか等、弁理士として非常に本質的な検討を要するものになります。そのため、本委員会での検討は白熱した議論が重ねられています。

(7) 事業棚卸しワーキンググループ

事業棚卸しワーキンググループは、日本弁理士会が実施する事業を定期的に見直す仕組みを導入することにより、中長期にわたる事業全体をより効率的かつ効果的なものとし、持続可能で安定した日本弁理士会組織を構築するために設置されたものです。

本年度は、昨年度までに検討、策定した棚卸しルールに従って、6つの附属機関の昨年度の事業結果に対して棚卸し作業を行いました。当該棚卸し作業の結果を踏まえて、棚卸しルールをブラッシュアップしていくとともに、将来的には、次年度会務検討委員会との連携を通して持続可能な事業策定を予定しています。

以上

会務報告



日本弁理士会副会長
高下 雅弘

1. はじめに

弁理士連合クラブから御推薦を頂き、令和6年度の日本弁理士会副会長を務めさせて頂いております、高下雅弘です。弁理士連合クラブ会誌「連合」の発刊にあたりまして、会務報告をさせて頂きたく存じます。

2. 会務報告

(1) 広報センター

今年度は、職業体験施設「キッサニア」における取組を拡充致しました。7月にキッサニア福岡において弁理士ウィークを開催致しました。具体的には、「弁理士事務所」パビリオンを開設し、商標登録出願業務体験を実施致しました。さらに、来年3月には、キッサニア甲子園においても弁理士ウィークを開催する予定です。

また、今年度は、弁理士の認知度向上を集中して行うための施策を行いました。具体的には、「プレジデントオンライン」、「東洋経済オンライン」、「ダイヤモンド・オンライン」、「News Picks」において、弁理士の職業認知率を向上させるための記事を作成し、公開致しました。

(2) 防災会議

本年度は、防災訓練の検討・実施、防災マニュアルや災害時の行動に関するto doリストの随時見直し、防災備品の検討・整備及び日本弁理士会の災害時用HPの改善等を行いました。特に、安否確認を行うための電子メールの配信基準の検討においては、事務局の方々の過度な負担にならないようにしつつ、かつ地震等が発生した地域の地域会との連携ができるように、配信基準の改定を検討して頂きました。

(3) 東北会

東北会では、弁理士の存在感を向上させるために、東北会が主体的に実施する知的財産普及活動を引き続き実施するとともに、東北各地での知的財産相談会を開催致しました。特に今年度は、9月19日（木）に「つながる特許庁」が盛岡で開催されました。日本弁理士会は、「つながる特許庁」の後の懇親会を主催することにより、東北会の先生方と地元の方々との交流を深めることができました。

(4) 特許制度運用協議委員会

特許制度運用の改善、審査・審判事件の処理促

進、電子出願、方式事項及び特許情報に対応するための調査・研究並びにこれらに関し特許庁等と協議を行いました。会員向け改善要望アンケートを行い、対庁協議事項について特許庁と協議を行い、その協議結果について会員へ広く周知を行いました。また、インターネット出願手続を含む様々な情報を「ペーパーレスニュース」にて定期的に発信致しました。

(5) 知財プレゼンス向上委員会

知財プレゼンス向上委員会においては、大企業における知財及び大企業の知財と特許事務所の関係について検討するAグループ、大学知財について検討するBグループ、及びスタートアップ知財について検討するCグループに各委員の先生方が所属し、検討すべき事項を適切に取捨選択して活発な議論を行いました。

また、本年度は、昨年度に引き続き、近年の登録者数における組織内弁理士（いわゆる特許事務所以外に所属する弁理士）の比率が高くなっていることを受けて、日本弁理士会内における組織内弁理士の在り方についても検討を行いました。

(6) 経営基盤強化委員会

今年度は昨年度に引き続き、空前の人手不足の中で特許事務所における人材確保をどのように進めていくか、という検討を行いました。また、中小規模の特許事務所における事務業務の効率化の検討を進めました。さらに、継続的な重要事業として、今年度もセミナーなどを通じた事務所承継に関するマッチング事業を行いました。

(7) DE & I 推進委員会

今年度は、特許庁／一般社団法人日本知的財産

協会／日本弁理士会のそれぞれでDE & Iを推進しているグループ同士での連携を深め、立場をこえて、三者が連携してDE & Iを進めて行く上でできることの検討を行いました。さらに、今年度は、DE & Iに関するHPの作成等を進めております。

3. 終わりに

会務活動には多くの先生方のご協力が必要です。私自身は残り3ヶ月副会長としての業務を進め日本弁理士会の未来のために邁進する所存ですので、今後とも益々のご指導ご鞭撻のほどお願い致します。



この1年を振り返って



弁理士連合クラブ副幹事長
中原 文彦

令和6年度弁理士連合クラブ副幹事長を仰せつかりました中原文彦です。今年度総務委員会と役員協議委員会を担当させていただきました。

弁理士連合クラブの会則には、総務委員会について、『会員の連絡及び会議場所等の設営、会議の開催に関する事項、その他、他の委員会に属さない事項を行う。』と規定されています。今年度は、総務委員長に小越一輝先生、副委員長に笹川拓先生、委員として、都野真哉先生、小野友彰先生に就任いただきました。

執行部の中では、今年度はコロナ禍からの脱却を図り、コロナ禍前にできるだけ戻したい、と考えておりました。そのため例えば、今年度予算については、コロナ禍前の各年度に倣った予算組みと致しました。その一方で、コロナ禍において進みましてリモートの活用を図ることで、会議の実を挙げつつ参加する会員の負担を減らすことに努めました。そのため、幹事会・総会についてはリモートで、一方、対面での協議が必要であると考えられた役員協議委員会の会議については、リアルとリモートのハイブリッドで開催致しました。

幹事会・総会については、例年通り、年2回の定時総会、臨時総会を開催致しましたが、今年度は若干イレギュラーな開催となりました。まず昨年度の

選挙によって当選された大橋剛之先生が副会長を辞退されたことから、急遽高下雅弘先生が副会長として立候補されるとのことで、その承認を得るべく、2月上旬に第1回臨時総会を開催致しました。また、今年度は後述しますように西日本弁理士クラブによって会長候補が擁立される、とのことで、日本弁理士クラブを含めた三派での会合が頻繁に行われました。そのため幹事会については、必要に応じて都度開催させていただきました。

次に役員協議委員会については、『日本弁理士会の役員選挙に関する事項を審議し、選挙運動の統括を行う。』と規定されています。今年度は、役員協議委員長に伊賀誠司先生、副委員長に井上一先生、委員として、櫻田賢先生、加藤和孝先生、潮太朗先生、石川憲先生、関大祐先生に就任いただきました。

上述しました通り、今年度は西弁が会長を擁立するという一方で、5月に中川雅博西弁幹事長から正式に次年度役員定時選挙には会長候補を擁立するとともに、会長を支えるために2名の副会長候補も擁立したい、と伝えられました。

また西弁が会長を擁立する、ということについて、中川幹事長からは、日弁、連合との三派で政策を協議していきたい、との意向が示されていました。そのため、6月に西弁による政策説明会が開催され、

この政策説明会を基に、7月と8月の2回にわたり三派合同政策検討会が開催されました。

一方、役員選挙への対応について、副会長、常議員の選挙に関して連合と日弁とで選挙にどのように対応するのか、検討する場が設けられました。具体的には、選挙までに3回にわたり協議するとともに、協議内容については、都度連合の役員協議委員会の先生方に議論いただきました。

そして、この日弁との協議において、副会長については定数をオーバーした場合には選挙やむなし、常議員については、1名オーバーの場合には連合側が候補者を降ろす、2名オーバーの場合には2人目については日弁側で候補者を降ろす、という最終的な方針が決まりました。

9月に入り立候補届の受付が開始されると、副会長については1名オーバー、常議員については1名オーバーの状態でした。そのため協議結果に基づいて、常議員については連合が候補者を1名降ろす、副会長については選挙を行うという基本的な方針が確認されました。そして、立候補届の受付が終了した時点では、常議員が2名オーバーの状態となっていました。そのため、常議員の2人目については、日弁側が候補者を降ろす、という対応が取られ、最終的に副会長のみ選挙、という状況となりました。

今年は西弁からの会長擁立、三派での政策協議、三派からすればノーマークの先生が立候補されたこと等、これまでにない経緯を辿りました。但し、蓋を開けてみれば常議員選挙については連合、日弁、合わせて2名の先生にご辞退いただくということになってしまいましたものの、その他に三派が推薦した先生方は全員当選される結果となりました。

このように今年度は激動の1年でした。ただ、対外的には笹野拓馬幹事長と石橋良規日弁幹事長、中川西弁幹事長との息がぴったりだったこと、連合内

では、笹野幹事長、濱田百合子副幹事長、小國泰弘副幹事長、そして小生と執行部全員の仲が良く、一致団結して対応することができたこと、からどうかこの1年を乗り切ることができました。改めて皆様に御礼申し上げます。また、会員の先生方にも深く感謝致します。会員の先生方あつての弁理士連合クラブであることを改めて認識致しました。次年度以降も引き続き何卒よろしくお願い申し上げます。



「会派の連携を見据えつつ 特色のある活動を」



弁理士連合クラブ副幹事長
濱田 百合子

令和6年度、笹野幹事長の下、弁理士連合クラブの副幹事長を務めさせていただきました濱田百合子です。本年度は、政策委員会と調整委員会を担当させていただきました。弁理士連合クラブの会員の皆様のご協力によりまして、一年間を無事に過ごすことができましたこと、厚く御礼申し上げます。

本年度は、通常どおり、3月の東海協議会及び西日本弁理士クラブの「現役員慰労会及び新役員激励会」を皮切りに、三派の旅行会も、6月に日本弁理士クラブが鬼怒川温泉で、7月に西日本弁理士クラブが加賀松代温泉で、9月に弁理士連合クラブが宇奈月温泉で、それぞれ盛況に行われました。特に、本年度は早い段階から西日本弁理士クラブからの会長擁立の機運が高まっていたことから、三派による交流や意見交換がより一層自由闊達に行われたことが大きく印象に残っています。私が担当しておりました政策委員会は、日本弁理士会の会務執行上の諸政策についての調査、研究に関する事項を行うことを目的としているため、西日本弁理士クラブから発信される次年度以降に向けた日本弁理士会の政策案について、今までにない活発な議論が三派内で何度も行われました。提案された政策案を弁理士同友会及び弁理士クラブのそれぞれにおいて議論してもらい、それらの内容を精査しながら、最終的に弁理士連合クラブの政策委員会において協議し、連合としての意見等を述べることであったことは大きな収穫であったと考え

ます。本年度は各会派の前向きな連携・協力によって日本弁理士会の運営がなされていくことの意義を強く感じた年でもありました。

日本弁理士会の役員定時選挙では、立候補届の提出の段階で、副会長候補者数が定員を1名オーバーし、また、関東地区の常議員候補者数が定員を2名オーバーする状況でしたが、特に日本弁理士クラブとの数回の協議を経て、常議員選挙については選挙を回避することができ、副会長選挙に注力することができました。

この一年間、副幹事長として弁理士連合クラブの運営に深く関わらせていただき、同友会の会員の皆様との交遊も深くなりましたが、より一層の連携の必要性、さらには他会派との意見交換を含めたコミュニケーションの必要性を大きく感じるとともに、三派の相互の協力により日本弁理士会がより一層活発に運営されていくであろうことを実感することになりました。同時に、弁理士連合クラブ独自の存在価値を確立していく必要性も感じた年でもありました。いずれにせよ、究極的には日本弁理士会のさらなる発展に向けて、弁理士連合クラブの活動に今後も積極的にかかわっていきたくと考えています。

最後になりましたが、笹野幹事長をはじめとする弁理士連合クラブの役員及び委員の先生方、さらには弁理士同友会及び弁理士クラブの諸先生方には本当にお世話になりました。心より御礼申し上げます。

復活の1年



弁理士連合クラブ副幹事長
小國 泰弘

令和6年度弁理士連合クラブ副幹事長を仰せつかった小國です。企画委員会及び研修委員会を担当いたしました。これら委員会の本年度の活動を掻い摘んで説明いたします。

まず、企画委員会ですが、旅行会を9月7日（土）～8日（日）に富山県にある宇奈月温泉の延対寺荘にて盛大に催しました。コロナ禍前と同様に大部屋での宿泊を復活させるなどして、会員同士の親交を大いに深めることができたものと思います。また、同委員会は、会誌「連合」の発刊も担当し、現在、弁理士会会長をはじめとして多くの先生方に原稿を依頼し、来年春の発刊を目指して、鋭意、活動中です。さらに、ホームページの更新も同委員会の担当で、尽力して頂きました。委員長の権正英樹先生をはじめとして各委員皆様のご尽力にこの場をお借りして感謝申し上げます。

次に、研修委員会ですが、旅行会において、弁理士の大瀬佳之先生を講師としてお迎えして、「生成AIの特許実務における利活用の最前線」というテーマで研修会を催す運びでした。しかし、当日の思わぬ事故のため新幹線のダイヤルが大いに乱れ、研修会の開催時間に多くの参加者が間に合わなくなり、誠に残念ながら、中止する次第に致しました。このように中止になったものの、委員長の奥村光平

先生をはじめとして各委員の皆様には深く感謝申し上げます。

弁理士連合クラブ（以下「連合」）は、連合を構成する二つの会派（弁理士クラブと弁理士同友会）の親善を深め、一致団結して、弁理士会役員選挙、特に会長選挙に臨み、有為な人材を弁理士会に送り出す働きを担っています。そのためには両会派の協力は必須であり、両派の会員の相互理解を深めるために対面での交流は欠かすことはできないものと考えます。研修会や宴席、ゴルフ、観光といった企画が盛り沢山の旅行会は必要不可欠なものといえます。このように大切な旅行会を本年度はコロナ禍前に戻して盛大に開催することができました。

もっとも、旅行会では例年と比べて一人部屋を希望する会員が多くなったように見受けられます。世間では社内旅行が敬遠されるなど、プライベートと仕事とを分けて考える風潮のようです。そうであれば、むしろ新しい交流の在り方を考えるのも必要といえます。コロナ禍で、会議や研修、さらには懇親会すらも、Web形式で行われるようになりました。Webには、会場予約が不要で手軽に開催することができ、移動にも時間をかけずに済みますし、遠方でもなかなか会うこともできない人とも話すことができるなど、様々な利点があります。Web形式でのイベ

ントの開催も考えてみていく必要があります。

むろん、人と直接会って食事をし、会話をするといったことには、人と人との仲を深める上での大きな効果があることは疑いようもありません。一方で、各自の趣味やニーズが多様化している点も見過ごすべきではありません。従来どおりの大勢の人間が集まっての宿泊を伴う旅行会に加えて、日帰り旅行会を開催したり、体験教室など参加者を絞った少人数のイベントも色々と開催するなどして、工夫を凝らしたイベントが今後は必要になっていくと思います。

このように考えていきますと、本年度も当初から、新たな企画を考え、実行すべきだったのではないかと今さら悔やまれます。日々の忙しさにかまけて過ごすうちに、結局、あまり多くのことができず、会員の先生方に十分満足できる活動の場所を提供することができなかったことは反省すべきと思います。この場をお借りしてお詫び申し上げます。来年度は新しい幹事長の元、両会派が一丸となって連合が活発に活動されることを祈っています。

最後に、この一年間ともに活動してきた、笹野拓馬幹事長、中原文彦副幹事長、及び濱田百合子副幹事長、さらには連合の会員の皆様に深く御礼申し上げます。一年間どうもありがとうございました。

以上



令和6年度弁理士連合クラブのあゆみ

(2024.1. 1 ~ 2024.12.31)

総務委員会 委員長 小越 一輝

- 令和6年 1月11日 日本弁理士会 次年度人事委員会／関東会 次年度人事検討WG
1月11日以降、2月8日、3月1日、3月22日に開催
- 1月16日 三派と会長との会合
- 1月24日 第1回正副幹事長会（オンライン）
執行部立上げ
- 1月24日 令和6年度役員再選挙告示
- 2月2日 第1回幹事会、第1回臨時総会（オンライン）
- 2月20日 第2回正副幹事長会（オンライン）
- 2月27日 第2回幹事会、第1回定時総会（オンライン）
事業報告、決算、事業計画、人事報告等
- 3月1日 日本弁理士政治連盟会長との意見交換
- 3月8日 東海協議会／慰労・激励会
西日本弁理士クラブ／慰労・激励会
- 3月14日 日本弁理士会 臨時総会
- 4月15日 機関誌「連合」第34号 オンライン発行及びホームページに掲載
- 5月15日 日本弁理士会主催第1回三派説明会、懇親会
- 5月24日 日本弁理士会 定時総会
西日本弁理士クラブとの会合
十派幹事長会
- 6月3日 第3回正副幹事長会（オンライン）
- 6月18日 日本弁理士クラブとの会合
- 6月19日 西日本弁理士クラブとの会合（第1回西弁政策説明会）
- 6月22日 日本弁理士クラブ旅行会（栃木県・鬼怒川温泉）
～23日
- 6月25日 第4回正副幹事長会（オンライン）
- 6月26日 政策・役協合同委員会
- 7月1日 日本弁理士会 弁理士の日記念対談・記念祝賀会

- 7月6日 連合旅行会下見（富山県・宇奈月温泉）
～7日
- 7月8日 第3回幹事会
- 7月10日 日本弁理士クラブとの会合
第1回三派合同政策検討会（第2回西弁政策説明会）
- 7月11日 日本弁理士会へ要望書提出
- 7月13日 西日本弁理士クラブ旅行会（石川県・加賀山代温泉）
～14日
- 7月17日 第1回拡大役員協議委員会
- 7月25日 日本弁理士クラブとの会合
- 8月1日 第2回拡大役員協議委員会
- 8月7日 日本弁理士会主催第2回三派説明会
第2回三派合同政策検討会
- 8月14日 第5回正副幹事長会（オンライン）
第4回幹事会、第2回定時総会（オンライン）
令和7年度日本弁理士会役員（副会長、監事、常議員）候補予定者の
推薦の件
- 8月26日 8月7日開催の三派説明会に対する意見を日本弁理士会に提出
- 8月28日 日本弁理士会役員選挙説明会
- 9月7日 連合旅行会（富山県・宇奈月温泉）
～8日
- 9月9日 令和7年度役員定時選挙の立候補受付・選挙運動開始
- 9月9日 弁理士連合クラブ内での緊急会合（選挙関連）
日本弁理士クラブとの選挙協議
- 9月11日 令和7年度役員定時選挙の立候補受付終了
- 9月20日 第3回拡大役員協議委員会
- 10月11日 令和7年度役員定時選挙、当選人の決定及び公示
- 10月22日 第6回正副幹事長会（オンライン）
- 11月6日 弁理士同友会創立60周年記念祝賀会（明治記念館）
- 11月13日 次年度事業計画説明会（三派合同）
- 11月19日 第5回幹事会、第2回臨時総会（オンライン）
- 11月21日 日本弁理士クラブ主催 日本弁理士会役員定時選挙当選祝賀会
- 11月22日 弁理士連合クラブ主催 日本弁理士会役員定時選挙当選祝賀会
- 12月4日 日本弁理士会主催第3回三派説明会

総務委員会

委員長 小越 一輝

1. 委員会の構成

委員長 小越 一輝 (弁ク)
副委員長 笹川 拓 (同友)
委員 小野 友彰 (同友)
都野 真哉 (弁ク)
担当副幹事長 中原文彦 (同友)

2. 職務権限

会員の連絡及び会議場所の設営、会議の開催に関する事項、その他、他の委員会の職務に属しない事項を行う。

3. 諮問事項

- (1) 総会及び幹事会その他、他の委員会以外の会議の会場の設営、開催の通知、及び会議の運営、委員会及び委員への連絡及び会計に関する事項の審議及びその実行
- (2) 特に定時総会の開催時期を中心として本会の会則改正の審議及び答申

4. 活動報告

- (1) 第1回幹事会及び第1回臨時総会

開催日時 令和6年2月2日 (金)
18:00~19:00
場 所 笹野国際特許事務所会議室
ウェブ会議 (Zoom)

議 案

①第1号議案

令和6年度日本弁理士会役員 (副会長) 候補予定者の推薦について承認を求める件

- (2) 第2回幹事会及び第1回定時総会

開催日時 令和6年2月27日 (火)
18:00~19:30

場 所 ブライトン国際特許事務所会議室
ウェブ会議 (Zoom)

議 案

①第1号議案

令和5年度弁理士連合クラブの事業報告について承認を求める件

②第2号議案

令和5年度弁理士連合クラブの事業報告について承認を求める件

③第3号議案

令和6年度弁理士連合クラブの事業報告について承認を求める件

④第4号議案

令和6年度弁理士連合クラブの予算について承認を求める件

- (3) 第3回幹事会

開催日時 令和6年7月8日 (月)
18:00~19:30

場 所 笹野国際特許事務所会議室
ウェブ会議 (Zoom)

議 案

①第1号議案

日本弁理士会に対する要望書提出について承認を求める件

②第2号議案

令和7年度日本弁理士会役員 (会長) 候補予

定者の擁立を行わないことについて承認を
求める件

③第3号議案

西日本弁理士クラブから提案された政策策定
に関する協力依頼に賛同し、協力することにつ
いての承認を求める件

④第4号議案

西日本弁理士クラブの政策に対する意見の内
容についての承認を求める件

⑤第5号議案

第1号議案から第4号議案について総会での
審議事項にしないことについて承認を求める件

場 所 笹野国際特許事務所会議室
ウェブ会議 (Zoom)

議 案

①第1号議案

令和7年度弁理士連合クラブ幹事長の選任に
ついて承認を求める件

以上

(4) 第4回幹事会及び第2回定時総会

開催日時 令和6年8月14日 (水)
18:00~19:30

場 所 笹野国際特許事務所会議室
ウェブ会議 (Zoom)

議 案

①第1号議案

令和7年度日本弁理士会役員 (副会長・監
事・常議員) 候補予定者の推薦について承認を
求める件

②第2号議案

令和7年度日本弁理士会役員 (会長) 候補予
定者の推薦について承認を求める件

(5) 第5回幹事会及び第2回臨時総会

開催日時 令和6年11月19日 (火)
18:00~19:00

政策委員会

委員長 高田 大輔

1. 委員会の構成

委員長	高田 大輔 (同友)
副委員長	岸本 達人 (弁ク)
委員	小林 保 (同友)
	田中 秀 喆 (同友)
	吉村 俊 一 (同友)
	井澤 幹 (同友)
	坂口 吉之助 (同友)
	中川 裕 幸 (弁ク)
	山川 茂 樹 (弁ク)
	山本 晃 司 (弁ク)
	都野 真 哉 (弁ク)
	瀧澤 匡 則 (弁ク)
	奥川 勝 利 (弁ク)
	野崎 俊 剛 (弁ク)
担当副幹事長	濱田 百合子 (弁ク)

2. 職務権限

日本弁理士会の会務執行上の諸政策についての調査研究に関する事項を行う。

3. 諮問事項

- (1) 日本弁理士会の政策に関する対応
- (2) 日本弁理士会の総会、常議員会の議案等への対応
- (3) 知的財産制度及び弁理士制度に関する検討、提言

4. 活動報告

- (1) 本会執行部主催の三派説明会

<第1回：令和6年5月15日>

本会執行部から、日本弁理士会の事務総長に関する規則改正、事務局若手職員の給与改定の検討

に関するワーキンググループ設置の是非についての説明がなされた。各单位会派で意見を募り、それをまとめたものを連合弁理士クラブの意見として提出した。

<第2回：令和6年8月7日>

本会執行部から、日本弁理士会の事務総長人事、2024年の事業計画に係る説明がなされた。説明に対し、各单位会派で意見を募り、それをまとめたものを弁理士連合クラブの意見として提出した。

<第3回：令和6年12月4日>

本会執行部から、事務総長人事、2024年の事業計画の進捗報告などの説明がなされた。

- (2) 西日本弁理士クラブによる政策説明会

<第1回：令和6年7月10日>

西日本弁理士クラブによる政策説明会がなされた。弁理士連合クラブ、日本弁理士クラブ、の関係者が出席し、西日本弁理士クラブからの説明に対して各々意見を述べた。

政策説明会にあたり、事前に西日本弁理士クラブより政策説明資料が提供された。これに対し、当クラブでは、政策・役協合同委員会を令和6年6月26日に開催し、政策に関する意見交換等を実施した。政策に対する意見は、弁理士クラブおよび弁理士同友会の夫々の意見を弁理士連合クラブの意見書として一つにまとめ、笹野幹事長を通じて提出した。

<第2回:令和6年8月7日(三派合同政策検討会)>

第2回は、三派合同政策検討会との名目で、前記意見書、および第1回の説明会で弁理士連合クラブ、日本弁理士クラブから出た意見を通じて修正された政策説明資料(修正版)を用いた説明がなされた。前回と同様、弁理士連合クラブおよび日本弁理士クラブの関係者が出席し、説明に対する意見が述べられた。

政策説明資料(修正版)に対して、弁理士クラブおよび弁理士同友会の夫々の意見が出され、笹野幹事長を通じて提出した。但し、第1回と異なり、各単位会派間の意見を一つにまとめることはなく、各会派からの意見を提出した。

<第3回:令和6年11月13日(次年度事業計画説明会)>

日本弁理士会役員定時選挙において、西日本弁理士クラブの北村修一郎先生が日本弁理士会会長に当選し、西日本弁理士クラブの政策は、日本弁理士会の次年度事業計画に組み込まれることとなった。そして、次年度事業計画説明会の名目で第3回の会合が開催され、弁理士連合クラブ、日本弁理士クラブの関係者に対して西日本弁理士クラブから次年度事業計画の説明がなされ、出席者から意見が述べられた。

(3) 三派と日本弁理士会の意見交換会における政策意見の提出

三派との日本弁理士会執行部との政策に関する意見交換会に先立ち、弁理士クラブおよび弁理士同友会の意見を要望書としてまとめ、笹野幹事長を通じて鈴木会長に提出した。

5. 所感

今年度の政策委員会は、例年になく活動の多い年であったと思います。特に、西日本弁理士クラブ所属の会員を次年度の会長候補として三派で共同推薦するにあたり、西日本弁理士クラブによる政策説明会が開催され、三派で政策を検討するという、おそらく初めての試みがなされました。これに関し、当クラブでは、西日本弁理士クラブの政策について政策・役協同委員会を以て検討を行い、弁理士クラブおよび弁理士同友会の意見を一つにまとめて提出しました。これも初めての試みであったかも知れませんが、まとめるのには相当の困難を伴いましたが、お互いが協力して一つのを提出できたのは成果と考えます。

今年度は、当クラブを含む三派が日本弁理士会の政策に対して正面から向き合い、各々の意見を発信する機会があったように思われ、弁理士を取り巻く課題および課題解決への着手の方向性が幾分か明確になったように思われました。

次年度以降、日本弁理士会の将来を見据えた活発な政策議論がなされることを願っております。最後に、関係者の皆様からの多大なご支援に対し、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

企画委員会

委員長 権正 英樹

1. 委員会の構成

委員長	権正 英樹 (弁ク)
副委員長	坂岡 範穂 (同友)
委員	春日部 仁之 (同友)
	青木 博 (同友)
	岩田 耕一 (弁ク)
	小田原 敬一 (弁ク)
担当副幹事長	小國 泰弘 (弁ク)

2. 職務権限

本会の運営の改善及び新規会員の増加対策等の調査、研究並びに機関誌の編集、発行に関する事項を行う。

3. 諮問事項

- (1) 旅行会、ゴルフ大会、その他会員相互の親睦を図るための行事の企画及びその実行
- (2) 他会派との積極的な交流を図るための行事の企画及びその実行
- (3) 機関誌の発行
- (4) 弁理士連合クラブの組織活性化のための方策の立案及びその実行
- (5) 弁理士連合クラブのホームページの維持及び管理

4. 活動報告

- (1) 委員会の開催
 - 1) 第1回企画委員会 (メール会議)
日時：令和6年7月10日
議題：旅行会の企画概要の確認
 - 2) 第2回企画委員会 (メール会議)
日時：令和6年9月1日
議題：旅行会当日の流れ・段取り・役割分担の確認
 - 3) 第3回企画委員会 (現地にて)
日時：令和6年9月7日
議題：現地にて、旅行会の流れ・段取り・役割を最終確認

- 4) 第4回企画委員会 (オンライン)
日時：令和6年12月5日
議題：機関誌「連合」の段取り等の確認

(2) 弁理士連合クラブ旅行会

- 1) 令和6年度弁理士連合クラブ旅行会の下見
令和6年7月6日(土)～7日(日)にかけて富山県及び宇奈月温泉を下見した。宿泊ホテル・宴会場・二次会場・観光候補地等を訪れ、各施設・設備、移動経路、当日の段取り等を確認した。

- 2) 令和6年度弁理士連合クラブ旅行会の実施
令和6年9月7日(土)～8日(日)にかけて宇奈月温泉 延対寺荘で開催した。懇親会・二次会は86名もの先生方の参加を得て盛大に開催された。

- 3) 令和6年度弁理士連合クラブ旅行会ゴルフ大会
旅行会2日目に富山県下新川郡朝日町にある「柵山ゴルフ倶楽部」で開催において弁理士連合クラブ旅行会ゴルフ大会を開催。天候にも恵まれ、6組22名の参加を得た。

- 4) 令和6年弁理士連合クラブ旅行会観光
旅行会2日目に25名の先生方が参加され、黒部峡谷トロッコ電車での観光を行った。その後、貸切バスで移動し、魚津埋没林博物館の見学の後、海の駅蜃気楼にて浜焼きを食した。

- (3) ホームページの維持、管理
弁理士連合クラブのホームページのコンテンツ(幹事長挨拶、組織図、年間行事など)のアップデートを行った。

- (4) 機関誌「連合」の発行
令和6年2月末にホームページを通じて発行する予定である。

役員協議委員会

委員長 伊賀 誠司

役員選挙報告

令和6年度弁理士連合クラブ役員協議委員会委員長を務めさせて頂きました伊賀誠司です。

今年度は、新年早々に令和6年度の副会長再選挙があり、また、平成7年度日本弁理士会の役員選挙においては、会長選挙に加え副会長及び常議員選挙も行われる公算が大きかったことから、同友側での連合役員協議委員長のなり手がなく、泣く泣く同友幹事長の身でありながら、役員協議委員長を引き受けさせて頂いた次第です。

今年度の役員協議委員会は、副委員長を弁ク井の井上一先生として頂き、委員には、弁ク側から、櫻田賢先生、加藤和孝先生、潮太朗先生、同友側からは、石川憲先生、関大祐先生に参加頂きました。執行部の役員担当は、中原文彦副幹事長です。

まず今年度は上述の通り、新年早々に令和6年度日本弁理士会副会長へ就任予定でありました大橋剛之先生の体調不良に伴う副会長辞退を受けて、副会長の再選挙となりました。大橋先生を推薦した責任会派として同友から候補者を立てて頂き、高下雅弘先生の立候補のご推薦を受けました。そこで、連合でも定時総会前に、異例の臨時総会を2月早々に開催し、高下先生を弁理士連合クラブ推薦の副会長候補として決議し、再選挙に送り出しました。おかげ様で、無事無投票にて高下先生を令和6年度日本弁理士会副会長に当選させて頂くことができました。

次に、今年度は令和7年度の日本弁理士会会長選挙がある年でもあり、上記副会長再選挙が終わったのも束の間、早々に会長選挙に向けての活動が活発化

しました。次年度会長に関しては、西日本弁理士クラブ様から連合に対しても早くから会長を擁立したいとの申し出を受けておりました。そのため、連合でも今年度は会長選挙もあり得るものと想定し、その対応を検討しておりましたところ、日本弁理士クラブ様が早い段階で会長候補を出さない方針を決断され、三派で西弁推薦の会長候補を応援し、協力しようとなりました。よって、会長選挙は回避される見通しとなりました。但し、連合での会長共同推薦に関しては、西弁の掲げる政策方針を伺ってからその是非について判断しようとなり、先ず6月19日に西弁による政策説明会が開催され、7月10日及び8月7日の三派合同政策研究会を経て、8月14日の連合の定時総会で西弁の北村修一郎先生を共同推薦することが承認されました。

一方、平成7年度の副会長・常議員選挙についても連合と日弁とにおいて、早くから交渉が開始されました。すなわち、6月18日、7月10日及び7月25日の計3回に亘り日弁側と選挙に関する会合を持ちました。日弁側は石橋幹事長を始めとして、大塚担当副幹事長、伊丹選挙対策委員長、長濱政策委員長が出席し、連合側からは、笹野幹事長、中原役員協議担当副幹事長、濱田政策担当副幹事長、それに役員協議委員長としての私で臨みました。この話し合いの中で、副会長は定員オーバーした場合は選挙戦やむなし、常議員関東地区では定員2名オーバー迄ならば日弁と連合で調整しようとの合意がなされました。

また、この日弁側との交渉に基づき、7月17日、8月1日に拡大役員協議委員会を行い、弁ク・同友間で

の選挙対策が話し合われました。そして、8月14日の定時総会において、連合推薦の各立候補者が確定しました。

9月になり選挙立候補期間となったところ、副会長選挙については、想定外の思わぬところからの立候補者があり、定員1名オーバーとなり選挙戦が確定しました。一方、常議員については、定員2名オーバーとなりましたが、日弁との当初の打ち合わせ通り、日弁と連合で1名ずつ調整し、選挙回避とすることができました。この連合側の常議員立候補者の調整にあたっては、弁ク側が強気の姿勢を貫いておられましたので、最終的には、役協委員長を務める同友側で責任を取ろうとなり、同友側で1名の立候補者の撤回を行いました。

おかげ様で、常議員に関しては、選挙がなくなり、弁ク推薦の井上誠一先生、澤田孝之先生及び玉腰紀子先生の3名、同友推薦の山木義明先生、駒場大視先生の2名の計5名を連合推薦の常議員として無事無投票にて当選させることができました。

次に、副会長選挙に関しては、9月20日に第3回目の拡大役協委員会を開催し、連合として2名の当選を目指すべく、弁ク・同友における副会長選への選挙協力体制についての話し合いを行いました。副会長の選挙戦は、会派外立候補者の実力が分からず、大変厳しい選挙戦となりましたが、弁クからの同友への選挙協力のおかげ様をもちまして、弁ク推薦の権正秀樹先生、同友推薦の高田大輔先生の両名を無事当選させることができました。弁理士クラブの弁理士同友会に対する温かいご支援に改めて感謝

申し上げる次第です。

副会長選の得票結果は、会派推薦の副会長候補がいずれも500を超える獲得票に対し、落選した会派外立候補者は300程度の獲得票であり、改めて、役員選挙における会派の重要性を認識させる良い結果になったものと思います。同友も最下位当選を回避することができ、弁ク・同友の選挙協力が大変うまくいったものと安堵致しました。

そして、もちろん共同推薦の会長候補の西弁の北村修一郎先生も無投票にて当選を果たしました。よって、次年度は北村会長と、権正副会長及び高田副会長を含む会派推薦の副会長による執行部が形成され、日本弁理士会の会務が運営されることとなります。権正先生、高田先生のご活躍を祈念致します。

この様に役員選挙戦を無事に終えられたのも、日弁の石橋幹事長、西弁の中川幹事長、そして連合の笹野幹事長を始めとする多くの方々のご尽力の賜物と改めて感謝致します。今後とも三派の信頼関係に基づいた日本弁理士会の運営・発展を祈念致します。

また、最後となりますが、平成7年の日本弁理士会の副会長選挙戦にご協力頂きました弁理士連合クラブの会員の皆様には、役協委員長として改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

研修委員会

委員長 奥村光平

1. 委員会の構成

委員長	奥村光平 (弁ク)
副委員長	山田武史 (同友)
委員	中村信彦 (同友)
	櫻田賢 (弁ク)
	美川公司 (弁ク)
担当副幹事長	小國泰弘 (弁ク)

2. 職務権限

研修委員会は、弁理士連合クラブの活動において、会員の研鑽や啓発を目的とした研修企画を担う重要な組織です。

研修委員会の主な職務としては、弁理士制度や知的財産権制度、さらには司法制度および科学技術に関わる研修を行い、会員の知識向上と啓蒙に努めることが挙げられます。これは、弁理士の基本的な職能をより深めるとともに、実務における最新情報を共有し合うための貴重な機会を創出するものです。

3. 諮問事項

弁理士制度、知的財産権制度、司法制度及び科学技術に関する研修の開催（弁理士としてのスキルアップにつながる研修の実施）

その他、必要に応じて、連合クラブ会員にとって有益な研修を企画・開催

これらの諮問事項は、研修委員会が恒常的に検討すべきテーマを定めており、会員の声を反映しながら適宜研修を企画できるよう設計されています。

4. 活動報告

本年度は、富山県黒部市の宇奈月温泉で催行された令和6年度弁理士連合クラブ旅行会に合わせて、以下のとおり研修会を実施する予定でした。しかし、当日の交通事情により、残念ながら研修そのものを実施することが叶わなくなりました。

研修テーマ：「生成AIの特許実務における利活用の最前線」

日時：令和6年9月7日（土）15:45～17:00

講師：弁理士 大瀬佳之 先生

（パテント・インテグレーション株式会社 代表取締役）

会場：黒部宇奈月温泉（富山県）

「宇奈月温泉 延対寺荘」

本年度の弁理士連合クラブ旅行会は、9月7日（土）から8日（日）にかけて、富山県の黒部宇奈月温泉で開催されました。関東を中心に活動する弁理士が集う恒例行事であり、情報交換や懇親、さらには研修を通じて相互の知見を深めることを目的としております。今年度は近年急速に注目を集める生成AIに焦点を当て、その実務活用に詳しい大瀬佳之先生を講師に招き、最新の知見を学ぶ貴重な機会となるはずでした。

しかしながら、当日、東京から富山方面へ向かう北陸新幹線が人身事故により大幅な遅延に見舞われたため、講師の大瀬先生および研修委員長の私（奥村光平）ともに予定時刻までに会場へ到着することができず、セミナーを中止せざるを得ない状況となってしまいました。このような事態は非常に残念ではありますが、人身事故ということで不可抗力であったと考えております。

それでも、同日の18:30から開催された懇親会には多くの参加者が集まり、結果的には大瀬先生を囲む形で自由な意見交換の場が自然発生的に生まれました。セミナーこそ実現しませんでしたでしたが、生成AIの今後の展望や特許実務への応用可能性について活発な議論が行われたようで、参加者間の交流は大いに盛り上がったとの報告を受けております。

今回、研修委員会としては、残念ながら正式な研修を提供できなかったことを重く受け止めておりますが、改めて別の機会を設け、同テーマのセミナー開催を実現すべく鋭意調整を進めてまいります。会員の皆様にはご期待とご理解を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

以上

第32回連合旅行会・ゴルフ大会

令和6年9月7日（土）～8日（日） 富山県黒部市 宇奈月温泉 延対寺荘
富山県下新川郡 棚山ゴルフ倶楽部

温泉旅行の復活は宇奈月温泉

企画委員長 權正 英樹



今年から連合旅行会での温泉旅行が復活することになりました。今年の旅行会は、9月7日（土）～8日（日）に宇奈月温泉の「延対寺荘」に宿泊しました。宇奈月温泉は、皆様ご存知の「宇奈月温泉事件」の温泉です。宇奈月温泉の延対寺荘は、竹久夢二、与謝野晶子、川端康成など様々な作家・文化人の方々に愛された旅館だそうです。

コロナ禍で中止となった連合旅行会が一昨年から復活しましたが、従前の温泉旅行ではなく、ビジネスホテルで個室を原則とするタイプの旅行でした。今年は、コロナ禍が完全に終息するような状況と

なったことから、温泉旅行タイプの連合旅行会が完全復活することになりました。

さて、連合旅行会は、研修会で幕を開けるのが通例です。研修会は、大瀬佳之先生に「生成AIの特許実務における利活用の最前線」についてご講演いただく予定でした。しかしながら、当日、東京から富山方面へ向かう北陸新幹線に大幅な遅延が生じたため、残念ながら、研修会を中止とすることになりました。ただ、研修会は開催できませんでしたが、大瀬先生に懇親会に参加いただき、その場で生成AIの今後の展望や特許実務への応用可能性について活発

な議論が行われたようです。

研修会は残念ながら中止となってしまいましたが、その分長時間温泉を楽しんでいただきました。宇奈月温泉の源泉は、黒雑温泉からの引湯であり、「延対寺荘」にも引湯管があるのを確認できました。この引湯管が「宇奈月温泉事件」に問題になったのかと思った先生方もいらっしゃるのではないのでしょうか。ところが、浴場で「シン宇奈月温泉事件」ともいえる事件が発生してしまいました。とある先生が温泉から出てきた後に衣類が消えてしまっていたという、驚くべき事件でした。しかし、その場に居合わせた北村修一郎先生が衣類を貸して下さったお陰で、何とか事なきを得たとのこと。上記のように、今回の旅行会の始まりは、中々に波乱の多いものでした。

懇親会は、延対寺荘の大宴会場にて、18時30分から開催しました。まずは、写真撮影ですが、皆様のご協力により、スムーズに行うことができました。この場を借りて御礼申し上げます。

写真撮影の後に、宴会が始まりました。弁理士連合クラブ幹事長の笹野拓馬先生によるご挨拶に始まり、ご来賓の日本弁理士会会長鈴木一永先生、日本弁理士クラブ幹事長石橋良規先生、西日本弁理士クラブ幹事長中川雅博先生からご挨拶を頂戴しました。そして乾杯は、弁理士連合クラブ相談役永井義久先生にご発声いただきました。乾杯で喉を潤した後は、コンパニオンさんも交えた大宴会の開始です。各会派、年代関係なく和気藹々とした賑やかな宴となり、あっという間に中締め時間になりました。食事については、富山の地元の恵みを生かした素材で、旅館こだわりの様々な工夫を凝らした料理に舌鼓を打ち、ご満足いただけたように思います。また、富山と言えば日本酒です。笹野幹事長の男気で、富山の高級な地酒を会場中央に用意しましたので、皆さまご満足いただけたように思います。宴会の中締めは、弁理士連合クラブ相談役の吉村俊一先生にお言葉をいただき、最後の閉会の辞は弁理士連合クラブ副幹事長小國泰弘先生にいただきました。



弁理士連合クラブ幹事長挨拶
笹野先生



日本弁理士会会長挨拶
鈴木先生



日本弁理士クラブ幹事長挨拶
石橋先生



西日本弁理士クラブ幹事長挨拶
中川先生



乾杯
永井先生



中締め
吉村先生



閉会の辞
小國先生

宴会の後の二次会は、館内の二次会会場に移動し、カラオケ大会です。ほぼすべての先生がご参加下さり、会場は溢れんばかりでした。実際に溢れてしまった先生方には、隣の別室の会場でカラオケを楽しんでいただきました。

二次会は22時で終了し、その後は自由行動となり、



二次会風景



三次会風景



トロッキ電車

二日目は、観光組、ゴルフ組に分かれて行動しました。

観光は、25名もの先生から申し込みがあり、まず、黒部峡谷トロッキ電車に乗って黒部川の峡谷沿いを観光しました。宇奈月駅を出発し、本誌の表紙に載っている新山彦橋を通り、うなづき湖、出し平ダム、ねずみ返しの岩壁、黒部川第二発電所を経て猫又駅まで行きました。そして、猫又駅で折り返して宇奈月駅に戻ってきました。乗車時間は約100分間でした。



うなづき湖



出し平ダム



ねずみ返しの岸壁



黒部川第二発電所



魚津埋没林博物館



昼食風景

トロッコ電車の後には、貸切バスで魚津埋没林博物館を見学しました。ここでは埋没林だけでなく、富山の蟹気楼についての展示もありました。その後、海の駅蟹気楼にて昼食（浜焼き）をご堪能いただきました。富山の海の幸を充分にお楽しみいただけましたものと思います。昼食の後は、黒部宇奈月温泉駅に移動し、そこで散会となりました。

ゴルフ組につきましては、ゴルフ幹事をお引き受けいただきました岩田先生からの「ゴルフ大会」報告を、ぜひご一読ください。

最後になりますが、連合旅行会にご参加下さりました皆様には心からお礼を申し上げます。また、皆様には不慣れな旅行会準備と進行のため色々とお不便とお迷惑をお掛けしたことと思います。この場を借りてお詫び申し上げます。旅行会の準備・運営にご尽力いただきました企画委員会の先生方には深く感謝いたします。

この旅行会が記憶に残る楽しい時間だったなど感じていただける先生方が少しでも多くいらっしゃれば幸いです。

ありがとうございました。

9月8日<ゴルフ大会の部>



ゴルフ大会幹事 岩田 耕一

第32回連合旅行会・ゴルフ大会成績

令和6年9月8日(日) 於: 棚山ゴルフ倶楽部

ハンデキャップ(HDCP)算出: ダブルペリア方式、ハンデ上限・カットなし

順位	氏名(敬称略)	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET	GROSS 順位
優勝	岩田 耕一	39	45	84	13.2	70.8	2
準優勝	吉村 俊一	43	46	89	18.0	71.0	6
3位	小越 一輝	45	42	87	15.6	71.4	3
4位	北原 宏修	46	44	90	18.0	72.0	7
5位	田中 達也	38	40	78	4.8	73.2	1
6位	萩 弥生	50	51	101	27.6	73.4	15
7位	中川 雅博	52	49	101	26.4	74.6	15
8位	小澤 壮夫	47	41	88	13.2	74.8	5
9位	永井 義久	46	50	96	20.4	75.6	12
10位	都野 真哉	48	46	94	18.0	76.0	11
11位	香坂 薫	41	46	87	10.8	76.2	3
12位	永田 元昭	42	49	91	14.4	76.6	10
13位	長濱 範明	46	44	90	13.2	76.8	7
14位	太田 昌孝	48	55	103	25.2	77.8	17
15位	坂本 智弘	44	46	90	12.0	78.0	7
16位	上羽 秀敏	44	56	100	21.6	78.4	14
17位	石川 憲	48	51	99	20.4	78.6	13
18位	竹本 如洋	66	48	114	34.8	79.2	19
19位	井上 一	53	62	115	34.8	80.2	20
20位	宗像 孝志	63	55	118	37.2	80.8	21
21位	米山 尚志	56	49	105	21.6	83.4	18
22位	石原 進介	63	66	129	45.6	83.4	22

今年の弁理士連合クラブ旅行会ゴルフ大会は、例年通り、旅行会2日目に、「棚山ゴルフ倶楽部」(富山県下新川郡)で開催しました。今回は、合計22名のご参加をいただき、盛況に催すことができました。ホテル周辺の候補ゴルフ場がとても少ない状況でしたが、旅行会社の方にはご調整に大変ご尽力をいただきました。

当日は、少し早めにホテルでの朝食を済ませていただいて、貸し切りバスにご乗車いただき、スムーズにゴルフ場に到着することができました。同ゴルフ倶楽部は、棚山と称することもあって、黒部川の下流に広がる扇状地から、一段山を登ったところにある棚地のようなところにあるゴルフ場でした。

とくかく当日の降雨予報が気になっており、到着後は、皆さん半ば諦めムード(雨の中でのラウンドを覚悟)が漂っておりましたが、奇跡的に、ちょうどティーオフの時間には、一番激しい雨雲が通り過ぎ、トータル的に気持ちよいコンディションでラウンドいただけたかと思います。また、なかなかの山岳コースかと思いきや、意外にアップダウンは緩やかでしたので、その点でも伸び伸びとプレーしていただけたかと思えます。

あまりこのようなコンペが開催されることのないゴルフ場のようで、支配人やスタッフの方々には、いろいろと無理をお願いしましたが、スコア集計、軽食パーティー、会計まで、とても親身になってご対応いただけたことが有難かったです。



さて、コンペの結果の方は、成績表をご覧ください。ベストグロ賞については、田中達也先生がお一人だけ70台という素晴らしいラウンドをされました。優勝は、といたしますと、やってはいけないことですが、厚かましくも幹事の私(岩田耕一)がいただくことになってしまい、大変失礼をいたしました。また、トップ3は、吉村俊一先生、小越一輝先生とともに、連合の先生方で独占という結果でした。

帰路も、貸し切りバスで、黒部宇奈月温泉駅まで無事に到着することができ、なんとか幹事の役目を果たすことができたかと思えます。

ご参加された先生方には、ご不便をおかけした点多々あるかと存じますが、ご理解とご協力をいただき、この場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

令和6年度弁理士連合クラブ

役員・委員長・副委員長・委員

幹事長	笹野 拓馬 (同友)			
副幹事長	中原 文彦 (総務、役協) (同友)			
	濱田百合子 (政策、調整) (弁ク)			
	小國 泰弘 (企画、研修) (弁ク)			
幹事	伊賀 誠司 (同友)	関 大祐 (同友)	高下 雅弘 (同友)	吉田倫太郎 (同友)
	萩 弥生 (同友)	櫻田 賢 (弁ク)	奥川 勝利 (弁ク)	加藤 和孝 (弁ク)
	美川 公司 (弁ク)	小越 一輝 (弁ク)	中川 裕幸 (弁ク)	岸本 達人 (弁ク)
監事	小川 眞一 (同友) 真田 修治 (弁ク)			
相談役	原田 信市 (同友)	吉田 芳春 (同友)	菊池 新一 (同友)	小川 眞一 (同友)
	小池 晃 (同友)	田辺 敏郎 (同友)	古谷 史旺 (同友)	丸山 英一 (同友)
	石川 憲 (同友)	小林 正治 (同友)	粕川 敏夫 (同友)	吉村 俊一 (同友)
	井澤 幹 (同友)	木下 實三 (弁ク)	永井 義久 (弁ク)	川久保新一 (弁ク)
	渡邊 一平 (弁ク)	山川 政樹 (弁ク)	絹谷 信雄 (弁ク)	伊藤 進 (弁ク)
	須山 佐一 (弁ク)	山川 茂樹 (弁ク)	山本 晃司 (弁ク)	塩野谷英城 (弁ク)
	中川 裕幸 (弁ク)	梶 俊和 (弁ク)		

【総務委員会】

委員長	小越 一輝 (弁ク)		
副委員長	笹川 拓 (同友)		
委員	小野 友彰 (同友)	都野 真哉 (弁ク)	

【政策委員会】

委員長	高田 大輔 (同友)			
副委員長	岸本 達人 (弁ク)			
委員	小林 保 (同友)	田中 秀喆 (同友)	吉村 俊一 (同友)	井澤 幹 (同友)
	坂口吉之助 (同友)	中川 裕幸 (弁ク)	山川 茂樹 (弁ク)	山本 晃司 (弁ク)
	都野 真哉 (弁ク)	瀧澤 匡則 (弁ク)	奥川 勝利 (弁ク)	野崎 俊剛 (弁ク)

【企画委員会】

委員長 権正 英樹 (弁ク)
副委員長 坂岡 範穂 (同友)
委員 青木 博 (同友) 春日部仁之 (同友) 岩田 耕一 (弁ク) 小田原敬一 (弁ク)

【役員協議委員会】

委員長 伊賀 誠司 (同友)
副委員長 井上 一 (弁ク)
委員 石川 憲 (同友) 関 大祐 (同友) 櫻田 賢 (弁ク) 加藤 和孝 (弁ク)
潮 太郎 (弁ク)

【調整委員会】

委員長 中川 裕幸 (弁ク)
副委員長 茜ヶ久保公二 (同友)
委員 加藤 和孝 (弁ク) 中島 崇晴 (弁ク)

【研修委員会】

委員長 奥村 光平 (弁ク)
副委員長 山田 武史 (同友)
委員 中村 信彦 (同友) 櫻田 賢 (弁ク) 美川 公司 (弁ク)

弁理士連合クラブ歴代役員

【昭和62年度】

幹事長 山川政樹
副幹事長 佐々木功 志賀正武 下田容一郎
幹事 天野 泉 伊藤 進 岡田英彦
菊池新一 絹谷信雄 佐藤孝雄
土橋 皓 中畑 孝 中山 清
原田信市 古谷 馨 米屋武志
監事 佐々木秋市 丹波宏之
顧問 当分の間置かない

選挙対策委員会

委員長 佐々木功

【平成元年度】

幹事長 古谷 馨
副幹事長 佐々木功 佐藤孝雄 原田信市
幹事 磯野道造 菊池新一 絹谷信雄
志賀正武 下田容一郎 武田賢市
土橋 皓 中山 清 丹波宏之
古谷史旺 山川政樹 米屋武志
監事 安達房次郎 須田孝一郎

【昭和63年度】

幹事長 山川政樹
副幹事長 佐々木功 志賀正武 下田容一郎
幹事 天野 泉 伊藤 進 岡田英彦
菊池新一 絹谷信雄 佐藤孝雄
土橋 皓 中畑 孝 中山 清
原田信市 古谷 馨 米屋武志
監事 佐々木秋市 丹波宏之
顧問 当分の間置かない
総務委員会
委員長 山元俊仁

総務委員会

委員長 須山佐一
副委員長 吉田精孝
委員 大原拓也 恩田浩宣 大貫和保
小倉正明 高橋康夫 田辺敏郎
仁平 孝 渡邊喜平

政策委員会

委員長 磯野道造
副委員長 小田治親
委員 黒川弘朗 竹内 裕 秋山 修
守谷一雄 須山佐一 木下實三
三澤正義 羽村行弘

政策委員会

委員長 原田信市
副委員長 守谷一雄
委員 天野 泉 黒田博道 紺野正幸
竹内 裕 竹山宏明 戸村 隆
松田雅章 真田修治

企画委員会

委員長 紺野正幸
副委員長 森 哲也
委員 大貫和保 黒田博道 田辺敏郎
辻 実 中山伸治 松田雅章
村田幹雄 渡邊喜平

企画委員会

委員長 唐木浄治
副委員長 木村高久
委員 山崎輝緒 齋藤美晴 佐藤幸男
渡部敏彦 古谷史旺 大津洋夫
小林正治 今野耕哉

選挙対策委員会

委員長 丹羽宏之

【平成 2 年度】

幹事長 佐々木功
副幹事長 菊池新一 佐藤孝雄 下田容一郎
天野 泉 小池 晃 絹谷信雄
木下實三 紺野正幸 志賀正武
土橋 皓 中畑 孝 中山 清
原田信市 山川政樹 米屋武志
監 事 秋本正實 武田賢市

総務委員会

委員長 小林正治
副委員長 山崎輝緒
委員 加藤和詳 五十嵐和壽 木村高久
竹山宏明 齋藤美晴 本田 崇
仁平 孝 羽村行弘

政策委員会

委員長 下田容一郎
副委員長 坂口信昭
委員 秋元芳雄 飯田昭夫 積田輝正
中島 淳 原田信市 三澤正義
守谷一雄 山元俊仁

企画委員会

委員長 吉田精孝
副委員長 渡部敏彦
委員 唐木浄治 黒田博道 桑原 稔
永井義久 仁科勝史 松田雅章
本宮照久 渡邊一平

選挙対策委員会

委員長 絹谷信雄

【平成 3 年度】

幹事長 菊池新一
副幹事長 米屋武志 下田容一郎 佐藤孝雄
幹 事 天野 泉 磯野道造 絹谷信雄
志賀正武 武田賢市 土橋 皓
中島 淳 中山 清 原田信市
古谷史旺 山川政樹 山元俊仁
監 事 小田治親 佐々木功

総務委員会

委員長 吉田精孝
副委員長 木村高久

委 員 井上誠一 桑原 稔 坂本光雄
富田和子 羽村行弘 森正 澄
八 鍬 昇 渡部敏彦

政策委員会

委員長 中島 淳
副委員長 坂口信昭
委 員 五十嵐和壽 伊藤 進 大賀眞司
黒田博道 今野耕哉 竹内 裕
三澤正義 紺野正幸

企画委員会

委員長 黒川弘朗
副委員長 齋藤美晴
委 員 秋山 修 北村 仁 小林正治
竹山宏明 鳥羽 修 山口邦夫
吉田芳春 渡邊一平

選挙対策委員会

委員長 佐藤孝雄
副委員長 天野 泉
委 員 大塚明博 木下實三 下田容一郎
須山佐一 永井義久 中澤健二
中畑 孝 中山伸治

【平成 4 年度】

幹事長 原田信市
副幹事長 志賀正武 絹谷信雄 中島 淳
幹 事 伊藤 進 菊池新一 木下實三
佐藤孝雄 下田容一郎 須山佐一
田辺敏郎 戸村 隆 古谷史旺
山崎輝緒 山本彰司 米屋武志
監 事 磯野道造 紺野正幸

総務委員会(担当 中島)

委員長 黒川弘朗
副委員長 永井義久
委 員 大島陽一 小川利春 高橋康夫
平山一幸 小倉正明 坂本光雄
竹山宏明 山本義明

政策委員会(担当 志賀)

委員長 佐藤孝雄
副委員長 戸村 隆
委 員 内田和男 紺野正幸 齋藤美晴
守谷一雄 天野 泉 今野耕哉

坂口信昭 本田 崇

企画委員会(担当 絹谷)

委員長 吉田芳春
副委員長 関口俊三
委員 川久保新一 富田和子 牧野剛博
村上光司 井澤 洵 鈴木次郎
西浦嗣晴 米山淑幸

選挙対策委員会(担当 原田)

委員長 中島 淳
副委員長 竹内 裕
委員 仁平 孝 松山圭佑 山田明信
渡邊喜平 大塚明博 田辺敏郎
古谷史旺 米屋武志

【平成5年度】

幹事長 絹谷信雄
副幹事長 磯野道造 武田賢市 中島 淳
幹事 (桜門) 井澤 洵 田辺敏郎
森哲也 大橋 弘
山本彰司 小池 晃
(弁ク) 伊藤 進 木下實三
木村高久 佐藤孝雄
仁平 孝 山崎輝緒
監事 吉田精孝 中山 清

総務委員会(担当 磯野道造)

委員長 仁平 孝
副委員長 今野耕哉
委員 (桜門) 羽村行弘 大塚明博
土川 晃 坂本光雄
(弁ク) 川久保新一 富田和子
油井 透 村上光司

政策委員会(担当 中島 淳)

委員長 天野 泉
副委員長 渡邊喜平
委員 (桜門) 中山伸治 坂口信昭
黒川弘朗 川村恭子
(弁ク) 黒田博道 笹井浩毅
遠山 勉 西森浩司

企画委員会(担当 武田賢市)

委員長 木村高久
副委員長 秋山 修

委員 (桜門) 長内行雄 飯田昭夫
仁科勝史 吉田芳春
(弁ク) 佐藤孝雄 布施行夫
真田修治 石橋佳之夫

選挙対策委員会(担当 絹谷信雄)

委員長 唐木浄治
副委員長 守谷一雄
委員 (桜門) 恩田博宣 本田 崇
古谷史旺 森哲也
(弁ク) 三澤正義 内田和男
山田明信 石川泰男

【平成6年度】

幹事長 米屋武志
副幹事長 天野 泉 守谷一雄 木下實三
幹事 (弁ク) 木村高久 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
三澤正義 永井義久
(同友) 森 哲也 大橋 弘
黒川弘朗 小池 晃
吉田精孝 小林正治
監事 (弁ク) 小田治親
(同友) 山本彰司

総務委員会(担当 守谷一雄)

委員長 田中雅雄(同友)
副委員長 黒田博道(弁ク)
委員 (弁ク) 原田 寛 北村 仁
渡邊一平 井上 一
(同友) 今野耕哉 小倉正明
本田 崇 竹山宏明

政策委員会(担当 天野 泉)

委員長 木下實三(弁ク)
副委員長 古谷史旺(同友)
委員 (弁ク) 佐藤孝雄 紺野正幸
真田修治 齋藤美晴
(同友) 天野 泉 坂口信昭
大塚明博 吉田芳春

企画委員会(担当 木下實三)

委員長 秋山 修(同友)
副委員長 永井義久(弁ク)
委員 (弁ク) 渡部敏彦 川久保新一
布施行夫 関口宗昭

(同友) 米山叔幸 旦 武尚
羽村行弘 桑原 稔

選挙対策委員会(担当 天野 泉)

委員長 三澤正義(弁ク)
副委員長 中澤健二(同友)
委員 (弁ク) 村田幹夫 牛木 護
石川泰男 半田昌男
(同友) 積田輝正 中山伸治
本宮照久 飯田昭夫

連絡協議特別委員会(担当 米屋武志)

委員長 仁平 孝(弁ク)
副委員長 井澤 洵(同友)
委員 (弁ク) 中島 淳 黒田博道
(同友) 菊池新一 吉田精孝

【平成7年度】

幹事長 佐藤孝雄(弁ク)
副幹事長 小池 晃(同友)
古谷史旺(同友)
伊藤 進(弁ク)
幹事 (同友) 井澤 洵 田中雅雄
田辺敏郎 中山伸治
羽村行弘 吉田精孝
(弁ク) 須山佐一 中島 淳
永井義久 仁平 孝
三澤正義 守谷一雄
監事 (同友) 積田輝正
(弁ク) 土橋 皓

総務委員会(担当 小池 晃)

委員長 石川泰男(弁ク)
副委員長 小林 保(同友)
委員 (同友) 伊賀誠司 長内行雄
花村 太 山本義明
(弁ク) 井上誠一 黒田 壽
塩田辰也 西森浩司

政策委員会(担当 古谷史旺)

委員長 小倉正明(同友)
副委員長 齋藤美晴(弁ク)
委員 (同友) 田村榮一 仁科勝史
本田 崇 森 哲也
(弁ク) 川久保新一 中川裕幸
服部雅紀 松田雅章

企画委員会(担当 伊藤 進)

委員長 井上 一(弁ク)
副委員長 磯野道造(同友)
委員 (同友) 大貫和保 桑原 稔
中村盛夫 米山淑幸
(弁ク) 関口宗昭 佐藤年哉
保立浩一 山口邦夫

選挙対策委員会(担当 佐藤孝雄)

委員長 中澤健二(同友)
副委員長 守谷一雄(弁ク)
委員 (同友) 秋山 修 天野 泉
大塚明博 山田智重
(弁ク) 遠山 勉 木下實三
渡邊一平 渡邊喜平

【平成8年度】

幹事長 小池 晃(同友)
副幹事長 須山佐一(弁ク) (政策・弁ク担当)
三澤正義(弁ク) (総務・人事担当)
大橋 弘(同友) (企画・同友担当)
幹事 (弁ク) 下田容一郎 木村高久
伊藤 進 紺野正幸
木下實三 黒田博道
(同友) 恩田博宣 古谷史旺
坂口信昭 本田 崇
小林正治 田中雅雄
監事 山元俊仁(弁ク) 吉田精孝(同友)
相談役 (弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 佐藤孝雄
(同友) 田中武文 原田信市
佐々木功 菊池新一
米屋武志

総務委員会(担当 三澤正義)

委員長 秋山 修(同友)
副委員長 真田修治(弁ク)
委員 (弁ク) 西森浩司 川久保新一
井上 一 保立浩一
(同友) 中里浩一 桑原 稔
神崎正浩 米山叔幸

政策委員会(担当 須山佐一)

委員長 伊藤 進(弁ク)

副委員長 仁科勝史(同友)
委員 (弁ク) 仁平 孝 北村 仁
青木輝男 遠山 勉
(同友) 森哲 也 小林 保
五十嵐和壽 羽村行弘

佐々木功 菊池新一
米屋武志 小池 晃

企画委員会(担当 大橋 弘)
委員長 坂本光雄(同友)
副委員長 井上誠一(弁ク)
委員 (弁ク) 紺野正幸 岡本啓三
開口宗昭 黒田 壽
(同友) 大貫和保 中村盛夫
中村和年 旦 武尚

総務委員会(担当 竹内 裕)
委員長 川久保新一(弁ク)
副委員長 米山淑幸(同友)
委員 (弁ク) 井上誠一 加藤和詳
黒田 壽 笹井浩毅
(同友) 秋山 修 桑原 稔
菊池 徹 中村信彦

研修委員会(担当 大橋 弘)
委員長 高月 猛(同友)
副委員長 井上 一(弁ク)
委員 (弁ク) 中川裕幸 伊藤嘉昭
(同友) 本田 崇 山田智重

政策委員会(担当 永井義久)
委員長 吉田精孝(同友)
副委員長 内田和男(弁ク)
委員 (弁ク) 紺野正幸 布施行夫
保立浩一 三品岩男
(同友) 大塚明博 仁科勝史
小倉正明 飯田昭夫

選挙対策委員会(担当 小池 晃)
委員長 木下實三(弁ク)
副委員長 中山伸治(同友)
委員 (弁ク) 土橋 皓 渡邊一平
黒田博道 山口邦夫
(同友) 黒川弘朗 八鍬 昇
小倉正明 伊賀誠司

企画委員会(担当 田辺敏郎)
委員長 西森浩司(弁ク)
副委員長 長内行雄(同友)
委員 (弁ク) 青木輝男 石橋佳之夫
世良和信 山口邦夫
(同友) 坂本光雄 旦 武尚
小川眞一 松下 満

【平成9年度】

幹事長 木下實三(弁ク)
副幹事長 竹内 裕(同友)
(総務・10周年(主)担当)
田辺敏郎(同友)
(企画・研修・10周年担当)
永井義久(弁ク)
(政策・選対・10周年担当)
幹事 (弁ク) 石川泰男 黒田博道
紺野正幸 須山佐一
中島 淳 三澤正義
(同友) 秋山 修 大塚明博
大貫和保 小倉正明
坂本光雄 中澤健二
監事 丹羽宏之(弁ク) 羽村行弘(同友)
相談役 (弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 佐藤孝雄
(同友) 田中武文 原田信市

選挙対策委員会(担当 永井義久)
委員長 中山伸治(同友)
副委員長 伊藤 進(弁ク)
委員 (弁ク) 黒田博道 齋藤美晴
須山佐一 渡邊喜平
(同友) 吉田芳春 黒川弘朗
神崎正浩 藤井稔也

研修委員会(担当 田辺敏郎)
委員長 石川泰男(弁ク)
副委員長 中里浩一(同友)
委員 (弁ク) 井上 一 木村高明
塩田辰也 遠山 勉
(同友) 大塚明博 小林 保
西野茂美 大賀眞司

10周年記念事業実行委員会
(担当 竹内裕(主)、田辺敏郎、永井義久)
委員長 天野 泉(同友)
副委員長 (弁ク) 井上誠一 内田和男

須山佐一 遠山 勉
 油井 透
 (同友) 唐木浄治 積田輝正
 羽村行弘 吉田芳春
 委員 (弁ク) 青木輝男 伊藤 進
 大島陽一 木村高久
 黒田博道 黒田 壽
 齋藤美晴 笹井浩毅
 下田容一郎 中島 淳
 中山 清 服部雅紀
 布施行夫 三澤正義
 山口邦夫
 (同友) 井澤 洵 大橋 弘
 大塚明博 菊池 徹
 坂本光雄 坂口信昭
 丸山英一 田中雅雄
 旦武 尚 中澤健二
 古谷史旺 山本彰司
 山田智重 吉田精孝
 米山淑幸

総務委員会(担当：須山佐一)
 委員 長 小倉正明(同友)
 副委員長 渡邊一平(弁ク)
 委員 (同友) 清水敬一 中村盛夫
 旦 武尚 伊賀誠司
 (弁ク) 山口邦夫 井上誠一
 下田 茂 内田和男

政策委員会(担当：吉田精孝)
 委員 長 中島 淳 (弁ク)
 副委員長 小林正治 (同友) 笹井浩毅(弁ク)
 委員 (弁ク) 青木輝夫 山口邦夫
 黒田 壽 大橋邦彦
 布施行夫 保立浩一
 半田昌男 阪本清孝
 藤野清規 原田 寛
 (同友) 伊賀誠司 小倉正明
 恩田博宣 唐木浄治
 小池 晃 清水敬一
 旦 武尚 原田信市
 古谷史旺 米山淑幸

【平成10年度】

(監事兼任) (同友) 井澤 洵 中澤健二
 本田 崇 小川眞一
 五十嵐和壽
 (弁ク) 小田治親 伊藤 進
 仁平 孝 真田修治
 渡邊喜平 井上 一

幹事長 田辺敏郎(同友)
 副幹事長 吉田精孝(同友)
 (政策、役員協議担当)
 木村高久(弁ク)
 (企画、研修担当)
 須山佐一(弁ク)
 (総務、渉外関係担当)

企画委員会(担当：木村高久)
 委員 長 大塚明博(同友)
 副委員長 小川利春(弁ク)
 委員 (同友) 長内行雄 小林 保
 坂本光雄 羽村行弘
 (弁ク) 石橋佳之夫 牧 哲郎
 渡部敏彦 西森浩司

幹事 (同友) 小林正治 井澤 洵
 中澤健二 本田 崇
 小川眞一 五十嵐和壽
 (弁ク) 小田治親 伊藤 進
 仁平 孝 真田修治
 渡邊喜平 井上 一

役員協議委員会(担当：吉田精孝)
 委員 長 守谷一雄(弁ク)
 副委員長 羽村行弘(同友)
 委員 (弁ク) 三澤正義 小田治親
 岡本啓三 高橋康夫
 木下實三 真田修治
 (同友) 古谷史旺 唐木浄治
 大貫和保 仁科勝史
 中山伸治

監事 土橋 皓(弁ク) 大橋 弘(同友)

相談役 (弁ク) 古谷 馨 山川政樹
 絹谷信雄 佐藤孝雄
 木下實三
 (同友) 田中武文 原田信市
 佐々木功 菊池新一
 米屋武志 小池 晃

研修委員会(担当：木村高久)
 委員 長 大貫和保(同友)

副委員長 柿本恭成(弁ク)
委員 (同友) 小川眞一 鈴木利明
丸山英一 中村信彦
(弁ク) 石川泰男 島田康男
古谷 聡 堤 卓

再選挙に関する特別委員会

委員長 木下實三(弁ク)
副委員長 守谷一雄(弁ク) 羽村行弘(同友)
委員 (弁ク) 三澤正義 小田治親
岡本啓三 高橋康夫
真田修治
(同友) 古谷史旺 唐木浄治
大貫和保 仁科勝史
中山伸治

[平成11年度]

[幹事会]

幹事長 須山佐一(弁ク)
副幹事長 井澤 洵(同友)
(企画、研修担当)
小林正治(同友)
(政策、役員協議担当)
永井義久(弁ク)
(総務、渉外関係担当)

幹事(政策委員兼任)

(同友) 大橋 弘 黒川弘朗
坂口信昭 森 哲也
羽村行弘 吉田芳春
(弁ク) 伊藤 進 小田治親
仁平 孝 渡邊喜平
川久保新一 内田和男

監事 田中武文(同友) 土橋 皓(弁ク)

[相談役会]

相談役
(幹事長経験者)

山川政樹(弁ク) 古谷 馨(弁ク)
佐々木功(同友) 菊池新一(同友)
原田信市(同友) 絹谷信雄(弁ク)
米屋武志(同友) 佐藤孝雄(弁ク)
小池 晃(同友) 木下實三(弁ク)
田辺敏郎(同友)

(弁理士会会長経験者)

田中武文(同友) 山川政樹(弁ク)
(弁理士会常議員会議長経験者)
山元俊仁(弁ク) 天野 泉(同友)

総務委員会(担当 永井義久)

委員長 井上 一(弁ク)
副委員長 菊池 徹(同友)
委員 (弁ク) 青木輝男 井上誠一
尾関伸介 笹井浩毅
(同友) 羽切正治 中村信彦
山木義明 崔 秀喆

政策委員会(担当 小林正治)

委員長 小池 晃(同友)
{9月以降：古谷 史旺(同友)}
副委員長 大橋邦彦(弁ク)
中澤健二(同友)

委員(幹事兼任)

(同友) 新井 全 飯田昭夫
伊賀誠司 竹内 裕
松下 満 吉田精孝
(弁ク) 井上誠一 北村 仁
黒田 壽 三澤正義
山名正彦

企画委員会(担当 井澤 洵)

委員長 山口邦夫(弁ク)
副委員長 杉本良夫(同友)
委員 (弁ク) 岡本啓三 亀谷美明
布施行夫 渡部敏彦
(同友) 本宮照久 神崎正浩
高尾裕之 青山 仁

役員協議委員会(担当 小林正治)

委員長 原田信市(同友)
副委員長 内田和男(弁ク)
天野 泉(同友)
委員 (同友) 五十嵐和壽 小川眞一
竹内 裕 中山伸治
(弁ク) 川久保新一 木村高久
紺野正幸 仁平 孝
原田 寛 守谷一雄
山川政樹

調整委員会(担当 永井義久)

委員長 古谷史旺(同友)
副委員長 三澤正義(弁ク)

委員 (同友) 菊池新一 原田信市
森 哲也 山本彰司
(弁ク) 絹谷信雄 下田容一郎
中山 清 守谷一雄

研修委員会(担当 井澤 洵)

委員長 保立浩一(弁ク)
副委員長 五十嵐和壽(同友)
委員 (弁ク) 堤 卓 長岡 重幸
廣田浩一 油井 透
(同友) 山田智重 中里浩一
米山叔幸 藤井稔也

【平成12年度】

[幹事会]

幹事長 古谷史旺(同友)
副幹事長 仁平 孝(弁ク)
(政策、役員協議担当)
真田修治(弁ク)
(企画、研修担当)
坂口信昭(同友)
(総務、調整、渉外関係担当)

幹事 (弁ク) 内田和男 井上 一
中島 淳 渡邊一平
土橋 皓 永井義久
(同友) 大貫和保 大塚明博
本田 崇 小倉正明
羽村行弘 田中雅雄

監事 積田輝正(同友) 原田 寛(弁ク)

相談役 田中武文(同友) 山川政樹(弁ク)
古谷 馨(弁ク) 佐々木功(同友)
菊池新一(同友) 原田信市(同友)
絹谷信雄(弁ク) 佐藤孝雄(弁ク)
小池 晃(同友) 木下實三(弁ク)
田辺敏郎(同友) 須山佐一(弁ク)

総務委員会

委員長 坂本光雄(同友)
副委員長 黒田 壽(弁ク)
委員 (弁ク) 山本晃司 伊藤嘉昭
尾川秀昭 石崎 剛
(同友) 大塚明博 山木義明
菊池 徹 崔 秀喆

政策委員会

委員長 木下實三(弁ク)
副委員長 本田 崇(同友)
世良和信(弁ク)
委員 (同友) 竹内 裕 中澤健二
秋山 修 小林正治
吉田芳春 小倉正明
松下 満 崔 秀喆
(弁ク) 伊藤 進 齋藤美晴
亀谷美明 川久保新一
保立浩一 布施行夫

役員協議委員会

委員長 下田容一郎(弁ク)
副委員長 小林正治(同友)
井上 一(弁ク)
委員 (同友) 原田信市 黒川弘朗
高野昌俊 西野茂美
本宮照久
(弁ク) 永井義久 紺野正幸
小田治親 青木輝夫
北村 仁

調整委員会

委員長 三澤正義(弁ク)
副委員長 山本彰司(同友)
委員 (弁ク) 絹谷信雄 木村高久
守谷一雄 須山佐一
(同友) 中山伸治 菊池新一
森 哲也 天野 泉

研修委員会

委員長 山田智重(同友)
副委員長 木村高久(弁ク)
委員 (弁ク) 堤 卓 高島敏郎
友野英三 坂本清孝
(同友) 中村信彦 青山 仁
高田大輔 高尾裕之

企画委員会

委員長 長内行雄(同友)
副委員長 柿本恭成(弁ク)
委員 (同友) 杉本良夫 伊賀誠司
丸山英一 山崎高明
(弁ク) 廣田浩一 佐藤年哉
富澤 孝 金坂憲幸

【平成13年度】

幹事長 中島 淳(弁ク)
副幹事長 本田 崇(同友)
(政策、研修担当)
山本彰司(同友)
(企画、役員協議担当)
伊藤 進(弁ク)
(総務、調整、渉外関係担当)

幹事 (弁ク) 中山 清 仁平 孝
笹井浩毅 内田和男
大橋邦彦 布施行夫
(同友) 唐木浄治 丸山英一
山崎高明 五十嵐和壽
森 哲也 中山伸治

監事 黒川弘朗(同友) 富田和子(弁ク)

相談役 田中武文(同友) 山川政樹(弁ク)
古谷 馨(弁ク) 佐々木功(同友)
菊池新一(同友) 原田信市(同友)
絹谷信雄(弁ク) 米屋武志(同友)
佐藤孝雄(弁ク) 小池 晃(同友)
木下實三(弁ク) 田辺敏郎(同友)
須山佐一(弁ク) 古谷史旺(同友)

総務委員会

委員長 保立浩一(弁ク)
副委員長 中村盛夫(同友)
委員 (弁ク) 尾川秀昭 阪本清孝
廣田浩一 山本晃司
(同友) 中里浩一 松下 満
藤井稔也 山木義明

政策委員会

委員長 磯野道造(同友)
副委員長 齋藤美晴(弁ク) 羽村行弘(同友)
委員 (弁ク) 柿本邦夫 黒田勇治
仁平 孝 平山一幸
三谷 恵 三澤正義
山川茂樹
(同友) 五十嵐和壽 坂口信昭
竹内 裕 田辺敏郎
中澤健二 森 哲也

役員協議委員会

委員長 吉田精孝(同友)
副委員長 守谷一雄(弁ク) 吉田芳春(同友)
委員 (弁ク) 小田治親 柿本恭成
北村 仁 木下實三
紺野正幸
(同友) 内藤嘉昭 佐々木功
古谷史旺 仁科勝史
長内行雄

調整委員会

委員長 中澤健二(同友)
副委員長 木村高久(弁ク)
委員 (弁ク) 須山佐一 真田修治
永井義久 渡邊一平
(同友) 天野 泉 小林正治
中畑 孝 志賀正武

研修委員会

委員長 山川茂樹(弁ク)
副委員長 菊池 徹(同友)
委員 (弁ク) 石川泰男 堀 城之
富澤 孝 木村高明
(同友) 山田智重 杉本良夫
旦 武尚 青山 仁

企画委員会

委員長 黒田 壽(弁ク)
副委員長 川俣静子(同友)
委員 (弁ク) 金坂憲幸 佐藤年哉
友野英三 岡本啓三
(同友) 高野昌俊 竹山宏明
崔 秀喆 谷口 登

【平成14年度】

幹事長 小林正治(同友)
副幹事長 森 哲也(同友)
(総務、調整、渉外関係担当)
内田和男(弁ク)
(企画、研修担当)
川久保新一(弁ク)
(政策、役員協議担当)

幹事 (弁ク) 山川政樹 牧 哲郎
青木輝夫 布施行夫

亀谷美明 保立浩一
(同友) 中山伸治 唐木浄治
清水敬一 山本義明
白崎真二 宮坂 徹

仁平 孝 柿本恭成
黒田 壽
(同友) 原田信市 黒川弘朗
山本彰司 古谷史旺
内藤嘉昭

監 事 中山 清(弁ク)仁科勝史(同友)

相 談 役 田中武文(同友)山川政樹(弁ク)
古谷 馨(弁ク)佐々木功(同友)
菊池新一(同友)原田信市(同友)
絹谷信雄(弁ク)米屋武志(同友)
佐藤孝雄(弁ク)小池 晃(同友)
木下實三(弁ク)田辺敏郎(同友)
須山佐一(弁ク)古谷史旺(同友)
中島 淳(弁ク)

総務委員会

委 員 長 五十嵐和壽(同友)
副委員長 中川裕幸(弁ク)
委 員 (弁ク) 柿本邦夫 山本晃司
廣田浩一 佐原雅史
(同友) 中村盛夫 松田克治
秋元芳雄 長内行雄

企画委員会

委 員 長 川俣静子(同友)
副委員長 山口義雄(弁ク)
委 員 (弁ク) 大淵美千栄 坂本清孝
金坂憲幸 金井英幸
(同友) 竹山宏明 崔 秀喆
広瀬 一 谷口 登

政策委員会

委 員 長 永井義久(弁ク)
副委員長 坂口信昭(同友)
委 員 (弁ク) 伊藤 進 木下實三
齋藤美晴 井上 一
山川茂樹 友野英三
(同友) 田辺敏郎 中澤健二
本田 崇 大塚明博
高野昌俊 小倉正明

役員協議委員会

委 員 長 伊藤 進(弁ク)
副委員長 中村盛夫(同友)
委 員 (弁ク) 下田容一郎 紺野正幸

研修委員会

委 員 長 長内行雄(同友)
副委員長 世良和信(弁ク)
委 員 (弁ク) 鈴木 知 山本 尚
美濃好美 塩野谷英城
(同友) 五十嵐和壽 伊賀誠司
丸山英一 杉本良夫

調整委員会

委 員 長 須山佐一(弁ク)
副委員長 磯野道造(同友)
委 員 (弁ク) 中山 清 絹谷信雄
木村高久 中島 淳
(同友) 佐々木功 中村政美
積田輝正 大貫和保

【平成15年度】

幹 事 長 伊藤 進(弁ク)
副幹事長 中澤健二(同友)
(政策、調整担当)
飯田昭夫(同友)
(企画、研修担当)
渡邊一平(弁ク)
(総務、役員協議、渉外担当)

幹 事 (同友) 中山伸治 大塚明博
中村盛夫 伊賀誠司
旦 武尚 高尾裕之
(弁ク) 牧 哲郎 山崎輝緒
真田修治 北村 仁
井上誠一 阪本清孝

監 事 松田克治(同友)木村高久(弁ク)

相 談 役 田中武文(同友)山川政樹(弁ク)
古谷 馨(弁ク)佐々木功(同友)
菊池新一(同友)原田信市(同友)
絹谷信雄(弁ク)米屋武志(同友)
佐藤孝雄(弁ク)小池 晃(同友)

木下實三(弁ク)田辺敏郎(同友)
須山佐一(弁ク)中島 淳(弁ク)
小林正治(同友)

総務委員会

委員長 齋藤美晴(弁ク)
副委員長 松下 満(同友)
委員 (同友) 神崎正浩 花村 太
粕川敏夫 井澤 幹
(弁ク) 鈴木 知 中川裕幸
柿本邦夫 石崎 剛

企画委員会

委員長 本宮照久(同友)
副委員長 水野 清(弁ク)
委員 (同友) 長内行雄 新井 全
小島 猛 西 和哉
(弁ク) 内田和男 小川利春
金坂憲幸 美濃好美

政策委員会

委員長 吉田芳春(同友)
副委員長 永井義久(弁ク)
委員 (同友) 磯野道造 小池 晃
坂口信昭 原田信市
竹内 裕 本田 崇
且 武尚 青山 仁
(弁ク) 大橋邦彦 中島 淳
三澤正義 井上 一
保立浩一 服部雅紀
今井孝弘

役員協議委員会

委員長 永井義久(弁ク)
副委員長 杉本良夫(同友)
黒田 壽(弁ク)
委員 (同友) 天野 泉 大塚明博
中村盛夫 松原 等
(弁ク) 仁平 孝 川久保新一
布施行夫 山川茂樹
山本晃司

研修委員会

委員長 塩野谷英城(弁ク)
副委員長 大賀眞司(同友)
委員 (同友) 林 信之 高野昌俊
石川 憲 中原文彦

(弁ク) 鈴木健治 佐原雅史
西康二郎 田中ひろみ

調整委員会

委員長 天野 泉(同友)
副委員長 中山 清(弁ク)
委員 (同友) 吉田精孝 本田 崇
山本彰司 磯野道造
(弁ク) 絹谷信雄 土橋 皓
紺野正幸 小田治親

【平成16年度】

幹事長 磯野道造(同友)
副幹事長 須山佐一(弁ク)
(研修、企画担当)
永井義久(弁ク)
(政策、調整担当)
五十嵐和壽(同友)
(総務、役員協議、渉外担当)

幹事 (弁ク) 保立浩一 山川茂樹
内田和男 中川裕幸
小川利春 笹井浩毅
(同友) 竹内 裕 清水 修
大貫和保 神崎正浩
伊賀誠司 石川 憲

監事 小田治親(弁ク)大塚明博(同友)

相談役 田中武文(同友)山川政樹(弁ク)
古谷 馨(弁ク)佐々木功(同友)
菊池新一(同友)原田信市(同友)
絹谷信雄(弁ク)米屋武志(同友)
佐藤孝雄(弁ク)小池 晃(同友)
木下實三(弁ク)田辺敏郎(同友)
須山佐一(弁ク)中島 淳(弁ク)
小林正治(同友)伊藤 進(弁ク)

総務委員会

委員長 米山淑幸(同友)
副委員長 山川茂樹(会計担当)(弁ク)
委員 (弁ク) 井上誠一 美濃好美
茅野直勝 三谷 恵
(同友) 花村 太 粕川敏夫
神崎正浩 小島 猛

企画委員会

委員長 金坂憲幸(弁ク)
 副委員長 新井 全(同友)
 委員 (弁ク) 阪本清孝 北村 仁
 阿仁屋節雄 柿本邦夫
 (同友) 松下 満 西 和哉
 且 武尚 佐藤 陽

政策委員会

委員長 三澤正義(弁ク)
 副委員長 飯田昭夫(同友)
 委員 (弁ク) 亀谷美明 布施行夫
 保立浩一 山川茂樹
 伊藤 進 渡邊一平
 (同友) 長内行雄 坂口信昭
 中澤健二 坂本光雄
 中村盛夫 成瀬重雄

役員協議委員会

委員長 中村盛夫(同友)
 副委員長 土橋 皓(弁ク)
 委員 (弁ク) 保立浩一 石川泰男
 平山一幸 笹井浩毅
 渡邊一平
 (同友) 中里浩一 仁科勝史
 杉本良夫 宮坂 徹

研修委員会

委員長 林 信之(同友)
 副委員長 中川裕幸(弁ク)
 委員 (弁ク) 鈴木 知 永岡重幸
 鈴木 敦 岡田希子
 (同友) 中村信彦 山田智重
 大賀真司 井澤 幹

調整委員会

委員長 伊藤 進(弁ク)
 副委員長 本田 崇(同友)
 委員 (弁ク) 紺野正幸 中山 清
 絹谷信雄 山川政樹
 (同友) 小池 晃 吉田精孝
 中山伸治 大橋 弘

【平成17年度】

幹事長 永井義久(弁ク)
 副幹事長 吉田芳春(同友)
 (研修、政策、
 役員協議(後期)担当)
 小川真一(同友)
 (企画、
 役員協議(前期)担当)
 笹井浩毅(弁ク)
 (総務、調整担当)

幹事 (同友) 新井 全 伊賀誠司
 長内行雄 坂口信昭
 坂本光雄 中村盛夫
 (弁ク) 鈴木 知 堤 卓
 中川裕幸 中山 清
 布施行夫 山本晃司

監事 大塚明博(同友) 小田治親(弁ク)

相談役 田中武文(同友) 山川政樹(弁ク)
 古谷 馨(弁ク) 佐々木功(同友)
 菊池新一(同友) 原田信市(同友)
 絹谷信雄(弁ク) 米屋武志(同友)
 小池 晃(同友) 木下實三(弁ク)
 田辺敏郎(同友) 須山佐一(弁ク)
 中島 淳(弁ク) 小林正治(同友)
 伊藤 進(弁ク) 磯野道造(同友)

総務委員会

委員長 金坂憲幸(弁ク)
 副委員長 山崎高明(同友)
 委員 (同友) 松下 満 杉本良夫
 宮坂 徹 山田武史
 安彦 元 関 昌充
 (弁ク) 井上誠一 柿本邦夫
 廣田浩一 三谷 恵

企画委員会

委員長 高尾裕之(同友)
 副委員長 山口義男(弁ク)
 委員 (弁ク) 阿仁屋節雄 井上誠一
 (同友) 新井 全 杉本良夫
 吉村俊一

政策委員会

委員長 川久保新一(弁ク)
副委員長 坂本光雄(同友)
委員 (同友) 坂口信昭 中村盛夫
成瀬重雄
(弁ク) 木下實三 中島 淳
井上 一 黒田 壽
山川茂樹 田中ひろみ

(研修、企画担当)

幹 事 (弁ク) 服部雅紀 金坂憲幸
川久保新一 小川利春
永岡重幸 美濃好美
(同友) 磯野道造 坂口信昭
小林正治 五十嵐和壽
小林 保 杉本良夫

役員協議委員会

委員長 長内行雄(同友)
副委員長 紺野正幸(弁ク)
副委員長 菊池 徹(同友)
委員 (弁ク) 水野 清 服部雅紀
山川茂樹 山本晃司
(同友) 中澤健二 仁科勝史
伊賀誠司 崔 秀喆
小島 猛

監 事 真田修治(弁ク)大貫和保(同友)

相 談 役 田中武文(同友)山川政樹(弁ク)
古谷 馨(弁ク)佐々木功(同友)
菊池新一(同友)原田信市(同友)
絹谷信雄(弁ク)米屋武志(同友)
小池 晃(同友)木下實三(弁ク)
田辺敏郎(同友)須山佐一(弁ク)
中島 淳(弁ク)小林正治(同友)
伊藤 進(弁ク)磯野道造(同友)
永井義久(弁ク)

研修委員会

委員長 小川利春(弁ク)
副委員長 林 信之(同友)
委員 (同友) 青山 仁
(弁ク) 北村 仁 永岡重幸
鈴木 敦

総務委員会

委員長 山崎高明(同友)
副委員長 美濃好美(弁ク)
委員 (弁ク) 今井孝弘 柿本邦夫
(同友) 山田武史 宮坂 徹
松下 満 杉本良夫
安彦 元 関 昌充

能力担保専門委員

(同友) 山本彰司 五十嵐和壽
本宮照久 中村信彦
(弁ク) 原田 寛 尾川秀昭
服部雅紀 河部秀男
赤羽良之

役員協議委員会

委員長 須山佐一(弁ク)
副委員長 磯野道造(同友)紺野正幸(弁ク)
委員 (同友) 井澤 幹 菊池 徹
小島 猛 藤浪一郎
堂本 環 古川友美
丸山英一
(弁ク) 小川利春 金坂憲幸
塩野谷英城 布施行夫
山口義雄 山本晃司

調整委員会

委員長 本田 崇(同友)
副委員長 渡邊一平(弁ク)
委員 (弁ク) 下田容一郎 川久保新一
(同友) 吉田精孝 丸山英一

【平成18年度】

幹 事 長 吉田芳春(同友)
副幹事長 三澤正義(弁ク)
(役員協議、政策担当)
長内行雄(同友)
(総務、調整担当)
井上誠一(弁ク)

研修委員会

委員長 成瀬重雄(同友)
副委員長 布施行夫(弁ク)
委員 (弁ク) 小川利春 長谷川靖
三谷 恵
(同友) 林 信之 中村信彦

山田 武史

企画委員会
委員長 永岡重幸(弁ク)
副委員長 粕川敏夫(同友)
(同友) 松下 満 花村 太
中原文彦
(弁ク) 柿本邦夫 阿仁屋節雄
山口義雄

政策委員会
委員長 崔 秀喆(同友)
副委員長 廣瀬隆行(弁ク)
委員 (弁ク) 保立浩一 笹井浩毅
鈴木喜三郎 田中ひろみ
井上 一 今井孝弘
岡田希子 奥田 誠
金坂憲幸 上條由紀子
茅野直勝 川久保新一
木下實三 小林 浩
佐成重範 永井義久
永岡重幸 服部雅紀
美濃好美 山本晃司
中島 淳 山川茂樹
(同友) 丸山英一 小林 保
小林正治 坂本光雄
本宮照久 菊池 徹
杉本良夫 坂口信昭

調整委員会
委員長 永井義久(弁ク)
副委員長 山本彰司(同友)
委員 (同友) 吉田精孝 丸山英一
(弁ク) 下田容一郎 川久保新一

幹 事 (同友) 坂口信昭 五十嵐和壽
坂本光雄 伊賀誠司
杉本良夫 中原文彦
(弁ク) 小川利春 井上誠一
塩野谷英城 永岡重幸
服部雅紀 三澤正義

監 事 真田修治(弁ク) 大貫和保(同友)

相 談 役 (同友) 田中武文 佐々木功
菊池新一 原田信市
米屋武志 小池 晃
田辺敏郎 小林正治
磯野道造 吉田芳春
(弁ク) 伊藤 進 木下實三
絹谷信雄 須山佐一
永井義久 中島 淳
古谷 馨 山川政樹

総務委員会
委員長 中川裕幸(弁ク)
副委員長 中原文彦(同友)
委員 (同友) 旦 武尚 花村 太
小島 猛
(弁ク) 奥川勝利 茅野直勝

政策委員会
委員長 山本晃司(弁ク)
副委員長 本宮照久(同友)
委員 (同友) 坂本光雄 田中雅雄
崔 秀喆 山田武史
石川 憲
(弁ク) 保立浩一 廣瀬隆行
奥 和幸 住吉勝彦
田中ひろみ

【平成19年度】

幹 事 長 川久保新一(弁ク)
副幹事長 天野 泉(同友)
(20周年記念事業担当)
井上 一(弁ク)
(総務、政策、調整担当)
丸山英一(同友)
(企画、役員協議、
研修担当)

役員協議委員会
委員長 小川眞一(同友)
副委員長 亀谷美明(弁ク)
委員 (弁ク) 平山一幸 布施行夫
柿本邦夫
(同友) 伊賀誠司 粕川敏夫
高尾裕之

調整委員会
委員長 渡邊一平(弁ク)

副委員長 山本彰司(同友)
委 員 選任なし

中原文彦 萼 経夫
松下 満 山木義明

研修委員会
委員長 米山淑幸(同友)
副委員長 今井孝弘(弁ク)
委 員 (弁ク) 絹谷晴久 須山英明
長谷川靖
(同友) 中村信彦 三島広規
小島 猛

監 事 真田修治(弁ク) 坂口信昭(同友)

相 談 役 (弁ク) 伊藤 進 川久保新一
木下實三 絹谷信雄
須山佐一 永井義久
中島 淳 古谷 馨
山川政樹
(同友) 磯野道造 菊池新一
小池 晃 小林正治
佐々木功 田中武文
田辺敏郎 原田信市
吉田芳春 米屋武志

企画委員会
委員長 菊池 徹(同友)
副委員長 山本寿武(弁ク)
委 員 (弁ク) 阿仁屋節雄 奥田 誠
鈴木喜三郎 山口義雄
(同友) 青山 仁 高尾裕之
本宮照久

総務委員会
委員長 中原文彦(同友)
副委員長 住吉勝彦(弁ク)
委 員 (弁ク) 鈴木 知 柿本邦夫
小國泰弘
(同友) 菊池 徹 宮坂 徹
山田武史

20周年記念事業実行委員会
委員長 永井義久(弁ク)
副委員長 伊賀誠司(同友)
部 会 長 〈式 典〉黒田 壽(弁ク)
部 会 長 〈祝賀会〉小川眞一(同友)
委 員 (同友) 伊賀誠司 新井 全
中村盛夫 崔 秀喆
粉川敏夫 杉本良夫
(弁ク) 茅野直勝 原田 寛
山口邦夫 中川裕幸
伊藤信和 柿本邦夫
鈴木 知

政策委員会
委員長 住吉勝彦(弁ク)
副委員長 本田 淳(同友)
委 員 (同友) 森 哲也 天野 泉
竹内 裕 小池 晃
古谷史旺 吉田芳春
丸山英一 山田武史
長内行雄 笹川 拓
関 昌充 笹野拓馬
(弁ク) 世良和信 川久保新一
井上 一 金坂憲幸
山本寿武 奥田 誠
伊藤信和 今井孝弘
上條由紀子 奥 和幸
恒川圭志 及川 周
國井久美子 森岡嗣象
高橋史保

【平成20年度】

幹 事 長 小川眞一(同友)
副幹事長 亀谷美明(弁ク)
(政策、役員協議担当)
中川裕幸(弁ク)
(研修、企画担当)
伊賀誠司(同友)
(総務、調整担当)

幹 事 (弁ク) 金坂憲幸 塩野谷英城
鈴木 知 永井義久
永岡重幸 三澤正義
(同友) 新井 全 坂本光雄

企画委員会
委員長 長内行雄(同友)
副委員長 瀧澤匡則(弁ク)
委 員 (弁ク) 加藤和孝 村井弘実

(同友) 菊池 徹 谷山尚史
井澤 幹

木下實三 絹谷信雄
須山佐一 永井義久
中島 淳 古谷 馨
山川政樹

研修委員会

委員長 奥 和幸(弁ク)
副委員長 大塚明博(同友)
委員 (弁ク) 今井孝弘 加藤政之
石戸孝則

総務委員会

委員長 永岡重幸(弁ク)
副委員長 吉村俊一(同友)
委員 (同友) 青山 仁 笹川 拓
関 昌充
(弁ク) 山川茂樹 柿本邦夫
奥 和幸

調整委員会

委員長 山本彰司(同友)
副委員長 三澤正義(弁ク)
委員 (弁ク) 下田容一郎 伊藤 進
(同友) 古谷史旺 丸山英一

政策委員会

委員長 森 哲也(同友)
副委員長 山本晃司(弁ク)
委員 (弁ク) 伊藤 進 井上誠一
及川 周 奥 和幸
川久保新一 川守田光紀
國井久美子 住吉勝彦
世良和信 永井義久
永岡重幸 山川茂樹
梶 俊和
(同友) 天野 泉 小川眞一
小池 晃 笹川 拓
笹野拓馬 関 昌充
竹内 裕 恒川圭志
古谷史旺 本田 淳
丸山英一 山崎高明
山田武史 吉田芳春

役員協議委員会

委員長 保立浩一(弁ク)
副委員長 吉田芳春(同友)

役員協議委員会

委員長 吉田芳春(同友)
副委員長 保立浩一(弁ク)

【平成21年度】

幹事長 渡邊一平(弁ク)
副幹事長 本宮照久(同友)
(企画、研修担当)
山崎高明(同友)
(政策、役員協議担当)
黒田 壽(弁ク)
(総務、調整担当)

幹事 (同友) 新井 全 坂本光雄
松下 満 山木義明
菊池 徹 大塚明博
(弁ク) 小川利春 井上誠一
塩野谷英城 今井孝弘
山川茂樹 山口義雄

監事 坂口信昭(同友)
真田修治(弁ク)

相談役 (同友) 田中武文 佐々木功
菊池新一 原田信市
米屋武志 小池 晃
田辺敏郎 古谷史旺
小林正治 磯野道造
吉田芳春 小川眞一
(弁ク) 伊藤 進 川久保新一

調整委員会

委員長 三澤正義(弁ク)
副委員長 山本彰司(同友)
委員 (同友) 天野 泉 古谷史旺
(弁ク) 伊藤 進 下田容一郎

研修委員会

委員長 中原文彦(同友)
副委員長 鈴木 敦(弁ク)
委員 (弁ク) 住吉勝彦
(同友) 山田武史

企画委員会
 委員長 梶 俊和(弁ク)
 副委員長 中原文彦(同友)
 委員 (同友) 井澤 幹 本田 淳
 (弁ク) 山口義雄 瀧澤匡則

(弁ク) 伊藤 進 内田和男
 永井義久 川久保新一
 井上誠一 永岡重幸
 奥 和幸 住吉勝彦
 梶 俊和

【平成22年度】

幹事長 亀谷美明(弁ク)
 副幹事長 田中雅雄(同友)
 山川茂樹(弁ク)
 吉村俊一(同友)
 幹事 (同友) 大塚明博 坂本光雄
 山木義明 松下 満
 新井 全 菊池 徹
 (弁ク) 小川利春 岡本啓三
 井上誠一 山本晃司
 永岡重幸 今井孝弘

監事 坂口信昭(同友) 齋藤美晴(弁ク)
 相談役 (同友) 原田信市 佐々木功
 磯野道造 菊池新一
 小池 晃 田辺敏郎
 古谷史旺 小林正治
 吉田芳春 小川眞一
 (弁ク) 古谷 馨 山川政樹
 絹谷信雄 伊藤 進
 須山佐一 中島 淳
 木下實三 永井義久
 川久保新一 渡邊一平

総務委員会
 委員長 住吉勝彦(弁ク)
 副委員長 本田 淳(同友)
 委員 松本一騎(弁ク)
 長野みか(弁ク)

政策委員会
 委員長 山本晃司(弁ク)
 副委員長 藤井稔也(同友)
 (同友) 天野 泉 竹内 裕
 小池 晃 古谷史旺
 吉田芳春 丸山英一
 山田武史 本田 淳

役員協議委員会

委員長 丸山英一(同友) (4/1～)
 副委員長 鈴木 知(弁ク)
 委員 (弁ク) 小國泰弘 絹谷晴久
 潮 太郎
 (同友) 中村盛夫 坂本光雄
 藤井稔也 林 信之
 笹川 拓 本田 淳

調整委員会

委員長 田辺敏郎(同友)
 副委員長 伊藤 進(弁ク)
 委員 山本彰司(同友)

研修委員会

委員長 今井孝弘(弁ク)
 副委員長 山田武史(同友)
 委員 中原文彦(同友)

企画委員会

委員長 佐尾山和彦(同友)
 副委員長 伊藤信和(弁ク)
 委員 (弁ク) 山本寿武 奥 和幸
 (同友) 菊池 徹 古川友美

【平成23年度】

選任なし

【平成24年度】

幹事長 古谷史旺(同友)
 副幹事長 中川裕幸(弁ク)
 山川茂樹(弁ク)
 小川眞一(同友)

幹事 (弁ク) 柿本邦夫 塩野谷英城
 絹谷晴久 木戸基文
 (同友) 大塚明博 坂本光雄
 山木義明 松下 満

新井 全 菊池 徹

吉田芳春 小川眞一

監 事 齋藤美晴(弁ク) 坂口信昭(同友)

相談役 (弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
木下實三 永井義久
川久保新一
(同友) 原田信市 佐々木功
磯野道造 菊池新一
小池 晃 田辺敏郎
古谷史旺 小林正治
吉田芳春 小川眞一

総務委員会

委員 長 中原文彦(同友)
副委員 長 小國泰弘(弁ク)

その他の委員会については、立ち上げず

【平成25年度】

幹 事 長 丸山英一(同友)
副幹事長 中川裕幸(弁ク)
山本晃司(弁ク)
吉村俊一(同友)

幹 事 (弁ク) 木下實三 井上誠一
岸本達人 永岡重幸
滝澤匡則 野崎俊剛
(同友) 田中雅雄 山崎高明
山田武史 中原文彦
安彦 元 井澤 幹

監 事 坂口信昭(同友) 真田修治(弁ク)

相談役 (弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
木下實三 永井義久
川久保新一
(同友) 原田信市 佐々木功
磯野道造 菊池新一
小池 晃 田辺敏郎
古谷史旺 小林正治

総務委員会

委員 長 安彦 元(同友)
副委員 長 滝澤匡則(弁ク)

政策委員会

委員 長 永岡重幸(弁ク)
副委員 長 山崎高明(同友)

役員協議委員会

委員 長 井澤 幹(同友)
副委員 長 井上誠一(弁ク)

調整委員会

委員 長 木下實三(弁ク)
副委員 長 田中雅雄(同友)

研修委員会

委員 長 野崎俊剛(弁ク)
副委員 長 山田武史(同友)

企画委員会

委員 長 中原文彦(同友)
副委員 長 岸本達人(弁ク)

【平成26年度】

幹 事 長 山川茂樹(弁ク)
副幹事長 青山 仁(同友)
(企画委員会、研修委員会)
井澤 幹(同友)
(役員協議委員会、調整委員会)
鈴木 知(弁ク)
(総務委員会、政策委員会)

幹 事 (同友) 丸山英一 山崎高明
笹川 拓 茜ヶ久保公二
岩田克子 本田 淳
(弁ク) 世良和信 渡邊一平
岸本達人 小國泰弘
梶 俊和 絹谷晴久

監 事 坂口信昭(同友) 真田修治(弁ク)

相談役 (同友) 原田信市 佐々木功

磯野道造 菊池新一
小池 晃 田辺敏郎
古谷史旺 小林正治
吉田芳春 小川眞一
丸山英一
(弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
木下實三 永井義久
川久保新一 渡邊一平

総務委員会

委員 長 塩野谷英城(弁ク)
副委員 長 本田 淳(同友)
委 員 (同友) 笹野拓馬 石井理太
(弁ク) 柿本邦夫 飛田高介

政策委員会

委員 長 山崎高明(同友)
副委員 長 瀧澤匡則(弁ク)
委 員 (弁ク) 伊藤 進 永井義久
渡邊一平 岸本達人
岡田希子 永岡重幸
小國泰弘 今堀克彦
須山英明 奥川勝利
内野則彰 岩田耕一
富澤 正 野崎俊剛
(同友) 竹内 裕 仁科勝史
吉田芳春 長内行雄
伊賀誠司 丸山英一
山田武史 笹川 拓
恒川圭志 石川 憲
井澤 幹 笹野拓馬
茂木康彦 大和田昭彦

企画委員会

委員 長 小田原敬一(弁ク)
副委員 長 岩田克子(同友)
委 員 (同友) 仲村圭代 駒場大視
(弁ク) 奥川勝利 潮 太朗

役員協議委員会

委員 長 永岡重幸(弁ク)
副委員 長 茜ヶ久保公二(同友)
委 員 (同友) 田辺 恵 藤浪一郎
徳増あゆみ 飯野智史

須田守一

(弁ク) 船津暢宏 小國泰弘
美川公司 梶 俊和

調整委員会

委員 長 丸山英一(同友)
副委員 長 伊藤 進(弁ク)
委 員 (弁ク) 船津暢宏 山本晃司
(同友) 田中雅雄 粕川敏夫

研修委員会

委員 長 笹川 拓(同友)
副委員 長 三輪浩誉(弁ク)
委 員 (弁ク) 松本一騎
(同友) 山田武史

【平成 27 年度】

幹 事 長 山本晃司(弁ク)
副幹事 長 永岡重幸(弁ク)
(企画委員会、研修委員会)
森 俊秀(同友)
(総務委員会、政策委員会)
石川 憲(同友)
(役員協議委員会、調整委員会)

幹 事 (同友) 小川眞一 山田武史
吉村俊一 安彦 元
本田 淳 大橋剛之
(弁ク) 世良和信 渡邊一平
岸本達人 小國泰弘
梶 俊和 絹谷晴久

監 事 真田修治(弁ク) 坂本光雄(同友)

相 談 役 (同友) 原田信市 佐々木功
磯野道造 菊池新一
小池 晃 田辺敏郎
古谷史旺 小林正治
吉田芳春 小川眞一
丸山英一

(弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
木下實三 永井義久
川久保新一 渡邊一平

委員会
総務委員会

委員長 大橋剛之(同友)
副委員長 飛田高介(弁ク)
委員 (同友) 茂木康彦 陸名智之
(弁ク) 柿本邦夫 佐々木まどか

政策委員会

委員長 三輪浩誉(弁ク)
副委員長 本田 淳(同友)
委員 (同友) 坂口信昭 飯田昭夫
中村盛夫 伊賀誠司
関 昌充 井澤 幹
(弁ク) 伊藤 進 濱田百合子
松本一騎 熊井 寛
野崎俊剛 美川公司

企画委員会

委員長 安彦 元(同友)
副委員長 奥 和幸(弁ク)
委員 (同友) 徳増あゆみ 駒場大視
(弁ク) 柿本邦夫 永井 望

役員協議委員会

委員長 吉村俊一(同友)
副委員長 梶 俊和(弁ク)
委員 丸山英一(同友)

調整委員会

委員長 伊藤 進(弁ク)
副委員長 小川眞一(同友)
委員 (同友) 田辺敏郎
(弁ク) 船津暢宏 黒田 壽
瀧澤匡則

研修委員会

委員長 野崎俊剛(弁ク)
副委員長 山田武史(同友)
委員 (同友) 笹川 拓
(弁ク) 下田憲雅

幹事長 石川 憲(同友)

副幹事長 船津暢宏(弁ク)
(役員協議、調整)
梶 俊和(弁ク)
(政策、企画、研修)
笹野拓馬(同友)
(総務、30周年準備)

幹事 (同友) 小林 保 長内行雄
小川眞一 山田武史
本田 淳 徳増あゆみ
(弁ク) 永井義久 中川裕幸
山本晃司 岸本達人
須山英明 瀧澤匡則

監事 中村盛夫(同友) 真田修治(弁ク)

相談役 (同友) 原田信市 佐々木功
磯野道造 菊池新一
小池 晃 田辺敏郎
古谷史旺 小林正治
吉田芳春 小川眞一
丸山英一
(弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
木下實三 永井義久
川久保新一 渡邊一平
山川茂樹 山本晃司

委員会

総務委員会
委員長 中川裕幸(弁ク)
副委員長 笹川 拓(同友)
委員 (同友) 松本直子
(弁ク) 佐々木まどか 高橋 堅

政策委員会

委員長 小林 保(同友)
副委員長 小田原敬一(弁ク)
委員 (同友) 古谷史旺 関 昌充
井澤 幹 田辺 恵
高下雅弘

(弁ク) 伊藤 進 山本晃司
岡田希子 永岡重幸
小國泰弘 今堀克彦
須山英明 奥川勝利
岩田耕一 富澤 正

幹 事 (同友) 小林 保 小川眞一
丸山英一 吉村俊一
石川 憲 松本直子
(弁ク) 永井義久 船津暢宏
中川裕幸 岸本達人
瀧津匡則 熊井 寛

企画委員会

委員 長 須山英明(弁ク)
副委員 長 吉田倫太郎(同友)
委 員 (同友) 本田 淳 川崎ひかり
(弁ク) 小國泰弘 下田憲雅

監 事 長内行雄(同友) 真田修治(弁ク)

相 談 役 (同友) 原田信市 菊池新一
小池 晃 田辺敏郎
古谷史旺 小林正治
吉田芳春 小川眞一
丸山英一 石川 憲
(弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
木下實三 永井義久
川久保新一 渡邊一平
山川茂樹 山本晃司

役員協議委員会

委員 長 山川茂樹(弁ク)
副委員 長 井澤 幹(同友)
委 員 (同友) 安彦 元 山下幸彦
(弁ク) 小國泰弘 絹谷晴久

委員会

総務委員会

委員 長 小野友彰(同友)
副委員 長 今堀克彦(弁ク)
委 員 (同友) 笹野拓馬
(弁ク) 須山英明 三苦貴織

調整委員会

委員 長 長内行雄(同友)
副委員 長 山川茂樹(弁ク)
委 員 (同友) 小川眞一 吉村俊一
(弁ク) 岸本達人 瀧澤匡則

政策委員会

委員 長 船津暢宏(弁ク)
副委員 長 古谷史旺(同友)
委 員 (同友) 坂口信昭 伊賀誠司
関 昌充 田辺 恵
茂木康彦 松本直子
(弁ク) 伊藤 進 中島 淳
永井義久 山本晃司
永岡重幸 今堀克彦
三輪浩誉 須山英明
奥川勝利 小田原敬一
富澤 正

研修委員会

委員 長 山田武史(同友)
副委員 長 飛田高介(弁ク)
委 員 (同友) 横田香澄
(弁ク) 柿本邦夫

30周年記念事業準備委員会

委員 長 粕川敏夫(同友)
副委員 長 永井義久(弁ク)
委 員 (同友) 古谷史旺
(弁ク) 永岡重幸

【平成 29 年度】

幹 事 長 粕川敏夫(同友)

副幹事長 塩野谷英城(弁ク)

(政策、役員協議、調整)

絹谷晴久(弁ク)

(企画、研修)

笹川 拓(同友)

(総務、30周年記念事業)

企画委員会

委員 長 笹野拓馬(同友)

副委員 長 熊井 寛(弁ク)

委 員 (同友) 山下幸彦 川崎ひかり

(弁ク) 権正英樹 瀧澤匡則

役員協議委員会

委員長 石川 憲(同友)
副委員長 岸本達人(弁ク)
委員 (同友) 藤井稔也 藤浪一郎
(弁ク) 大淵美千栄 小林 功

調整委員会

委員長 中川裕幸(弁ク)
副委員長 丸山英一(同友)
委員 (同友) 小川眞一 高下雅弘
(弁ク) 岸本達人

研修委員会

委員長 伊藤信和(弁ク)
副委員長 横田香澄(同友)
委員 (同友) 徳増あゆみ
(弁ク) 柿本邦夫 中川裕幸

30周年記念事業実行委員会

委員長 青山 仁(同友)
副委員長 永井義久(弁ク)
式典部会長 吉村俊一(同友)
祝賀会部会長 山川茂樹(弁ク)
記念誌部会長 松本直子(同友)
委員 (同友) 古谷史旺 小野友彰
田辺 恵 岩田克子
笹野拓馬 徳増あゆみ
坂口吉之助 保屋野光繁
(弁ク) 永岡重幸 今堀克彦
三苦貴織 新井 宏
橋 祐史 美川公司
夏目洋子 尾崎祐朗
張 華威

幹 事 (同友) 林 實 小林 保
小川眞一 丸山英一
笹野拓馬 松本直子
(弁ク) 中川裕幸 山本晃司
伊藤信和 今堀克彦
瀧澤匡則 潮 太朗

監 事 長内行雄(同友) 真田修治(弁ク)

相談役 (同友) 原田信市 菊池新一
小池 晃 田辺敏郎
古谷史旺 小林正治
吉田芳春 小川眞一
丸山英一 粕川敏夫
石川 憲
(弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
木下實三 永井義久
川久保新一 渡邊一平
山川茂樹 山本晃司

委員会

総務委員会

委員長 潮 太朗(弁ク)
副委員長 松本直子(同友)
委員 (同友) 河合利恵
(弁ク) 須山英明 三苦貴織

政策委員会

委員長 伊賀誠司(同友)
副委員長 橋 和之(弁ク)
委員 (同友) 古谷史旺 小林 保
長内行雄 小川眞一
丸山英一 山崎高明
(弁ク) 川久保新一 中川裕幸
山川茂樹 岸本達人
塩野谷英城 瀧澤匡則

企画委員会

委員長 小國泰弘(弁ク)
副委員長 横田香澄(同友)
委員 (同友) 吉村俊一 高井智之
(弁ク) 絹谷晴久 加藤和孝
小田原敬一

【平成 30 年度】

幹 事 長 鈴木 知(弁ク)

副幹事長 菊池 徹(同友)
(調整、研修)

関 昌充(同友)
(政策、役員協議)

奥川勝利(弁ク)
(総務、企画)

役員協議委員会

委員長 山本晃司(弁ク)
副委員長 藤浪一郎(同友) 吉村俊一(同友)
委員 (同友) 藤井稔也 井澤 幹
関 大祐 高下雅弘
吉田倫太郎
(弁ク) 今堀克彦 絹谷晴久

(弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
木下實三 永井義久
川久保新一 渡邊一平
鈴木 知 山川茂樹
山本晃司

調整委員会

委員長 丸山英一(同友)
副委員長 山本晃司(弁ク)
委員 (同友) 小川眞一
(弁ク) 中川裕幸 瀧澤匡則

委員会

総務委員会
委員長 笹野拓馬(同友)
副委員長 三苫貴織(弁ク)
委員 (同友) 山下幸彦 関 大祐
(弁ク) 村野直仁 武田侑希

研修委員会

委員長 谷口 登(同友)
副委員長 伊藤信和(弁ク)
委員 (同友) 茜ヶ久保公二
(弁ク) 権正英樹 河部康弘

政策委員会

委員長 潮 太郎(弁ク)
副委員長 中原文彦(同友)
委員 (同友) 古谷史旺 小林 保
長内行雄 丸山英一
山崎高明 横田香澄
(弁ク) 濱田百合子 中川裕幸
今堀克彦 奥川勝利
高橋 堅 加藤和孝

【令和元年度】

幹事長 塩野谷英城(弁ク)

副幹事長 伊賀誠司(同友)
(政策、役員協議、調整)
瀧澤匡則(弁ク)
(企画、研修)
松本直子(同友)
(総務)

企画委員会

委員長 笹川 拓(同友)
副委員長 須藤 淳(弁ク)
委員 (同友) 小島 猛 河合利恵
(弁ク) 絹谷晴久 岩田耕一

幹事 (同友) 林 實 小林 保
小川眞一 丸山英一
高田大輔 吉田倫太郎
(弁ク) 中川裕幸 小國泰弘
今堀克彦 奥川勝利
加藤和孝 潮 太郎

役員協議委員会

委員長 山川茂樹(弁ク)
副委員長 藤浪一郎(同友)
委員 (同友) 高下雅弘 服部綾子
(弁ク) 笠原 翔 厚木 薫

監事 永井義久(弁ク) 長内行雄(同友)

調整委員会

委員長 丸山英一(同友)
副委員長 中川裕幸(弁ク)

相談役 (同友) 原田信市 菊池新一
小池 晃 田辺敏郎
古谷史旺 小林正治
吉田芳春 小川眞一
丸山英一 粕川敏夫
石川 憲

研修委員会

委員長 小國泰弘(弁ク)
副委員長 谷口 登(同友)
委員 (同友) 茜ヶ久保公二 駒場大視
(弁ク) 関根武彦 美川公司

【令和2年度】

			丸山英一 山崎高明 藤浪一郎
幹事長	吉村俊一(同友)	(弁ク)	山川茂樹 山本晃司 奥川勝利 加藤和孝 美川公司
副幹事長	梶 俊和(弁ク) (総務、政策)		
	笹川 拓(同友) (企画、研修)		企画委員会
	潮 太郎(弁ク) (役協、調整)		委員長 小越一輝(弁ク) 副委員長 小島 猛(同友) 委員 (同友) 松本直子 (弁ク) 須藤 淳 岩田耕一
幹事	(同友) 小川眞一 高田大輔 笹野拓馬 山下幸彦 松本直子 吉田倫太郎 (弁ク) 永井義久 船津暢宏 奥川勝利 美川公司 小越一輝 河部康弘		役員協議委員会 委員長 高田大輔(同友) 副委員長 船津暢宏(弁ク) 委員 (弁ク) 井上誠一 山本晃司 絹谷晴久
監事	真田修治(弁ク) 長内行雄(同友)		調整委員会 委員長 永井義久(弁ク) 副委員長 長内行雄(同友) 委員 (弁ク) 絹谷晴久 山内輝和
相談役	(同友) 原田信市 菊池新一 小池 晃 田辺敏郎 古谷史旺 小林正治 吉田芳春 小川眞一 丸山英一 粕川敏夫 石川 憲 (弁ク) 古谷 馨 山川政樹 絹谷信雄 伊藤 進 須山佐一 中島 淳 木下實三 永井義久 川久保新一 渡邊一平 鈴木 知 山川茂樹 山本晃司 塩野谷英城		研修委員会 委員長 山田武史(同友) 副委員長 永井 望(弁ク) 委員 (同友) 横田香澄 (弁ク) 権正英樹

委員会

総務委員会

委員長	河部康弘(弁ク)
副委員長	河合利恵(同友)
委員	(同友) 関 大祐 (弁ク) 今堀克彦 加藤和孝 瀧澤匡則

政策委員会

委員長	吉田倫太郎(同友)
副委員長	権正英樹(弁ク)
委員	(同友) 古谷史旺 小林 保

【令和3年度】

幹事長	井澤 幹(同友)
副幹事長	岸本達人(弁ク) (総務、政策)
	小國泰弘(弁ク) (企画、研修)
	茜ヶ久保公二(同友) (役協、調整)
幹事	(同友) 小川眞一 田辺 恵 松本直子 吉田倫太郎 河合利恵 (弁ク) 今堀克彦 梶 俊和 権正英樹 瀧澤匡則 美川公司 小越一輝 河部康弘 三浦康浩

監 事 真田修治(弁ク) 長内行雄(同友)

相談役 (同友) 原田信市 菊池新一
小池 晃 田辺敏郎
古谷史旺 小林正治
吉田芳春 小川眞一
丸山英一 粕川敏夫
石川 憲
(弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
木下實三 永井義久
川久保新一 渡邊一平
鈴木 知 山川茂樹
山本晃司 塩野谷英城

委員会

総務委員会

委員長 笹川 拓(同友)
副委員長 河部康弘(弁ク)
委員 (同友) 河合利恵
(弁ク) 村野直仁先生

政策委員会

委員長 今堀克彦(弁ク)
副委員長 吉村俊一(同友)
委員 (同友) 古谷史旺 小林 保
丸山英一 山崎高明
藤浪一郎 河部康弘
(弁ク) 船津暢宏 中川裕幸
山川茂樹 山本晃司
絹谷晴久 奥川勝利
瀧澤匡則 奥村光平

企画委員会

委員長 吉田倫太郎(同友)
副委員長 小越一輝(弁ク)
委員 (同友) 松本直子
(弁ク) 須藤 淳 岩田耕一

役員協議委員会

委員長 関 大祐(同友)
副委員長 瀧澤匡則(弁ク)
委員 (同友) 高田大輔
(弁ク) 山川茂樹 権正英樹

調整委員会

委員長 梶 俊和(弁ク)
副委員長 長内行雄(同友)
委員 (弁ク) 船津暢宏 権正英樹
美川公司

研修委員会

委員長 三浦康浩(弁ク)
副委員長 谷口 登(同友)
委員 (同友) 荻 弥生
(弁ク) 永井 望

【令和4年度】

幹事長 中川裕幸(弁ク)

副幹事長 吉田倫太郎(同友)

(総務、政策)
茜ヶ久保公二(同友)
(企画、研修)
美川公司(弁ク)
(役協、調整)

幹事 (同友) 田辺 恵 大橋剛之
関 大祐 高下雅弘
河合利恵
(弁ク) 瀧澤匡則 今堀克彦
梶 俊和 河部康弘
三浦康浩 権正英樹
小越一輝

監 事 小川眞一(同友) 真田修治(弁ク)

相談役 (同友) 原田信市 吉田芳春
菊池新一 小川眞一
小池 晃 田辺敏郎
古谷史旺 丸山英一
石川 憲 小林正治
粕川敏夫
(弁ク) 古谷 馨 木下實三
永井義久 川久保新一
渡邊一平 山川政樹
絹谷信雄 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
鈴木 知 山川茂樹
山本晃司 塩野谷英城

委員会

総務委員会

委員長 小國泰弘(弁ク)
副委員長 笹川 拓(同友)

政策委員会

委員長 井澤 幹(同友)
副委員長 野崎俊剛(弁ク)
委員 (同友) 古谷史旺 小林 保
丸山英一 山崎高明
松本直子
(弁ク) 船津暢宏 山本晃司
山川茂樹 絹谷晴久
奥川勝利 瀧澤匡則
奥村光平 河部康弘

企画委員会

委員長 小越一輝(弁ク)
副委員長 坂岡範穂(同友)
委員 (同友) 坂口吉之助
(弁ク) 岩田耕一

役員協議委員会

委員長 井上 一(弁ク)
副委員長 吉村俊一(同友)
委員 (同友) 田辺 恵 大橋剛之
関 大祐
(弁ク) 権正英樹 潮 太郎

調整委員会

委員長 長内行雄(同友)
副委員長 船津暢宏(弁ク)
委員 (同友) 小林 保 丸山英一
粕川敏夫
(弁ク) 権正英樹 潮 太郎

研修委員会

委員長 三浦康浩(弁ク)
副委員長 谷口 登(同友)
委員 (同友) 荻 弥生
(弁ク) 永井 望

【令和5年度】

幹事長 梶 俊和(弁ク)

副幹事長 笹野拓馬(同友)
(企画、研修)
井上誠一(弁ク)
(政策、調整)
高下雅弘(同友)
(総務、役協)

幹事 (同友) 茜ヶ久保公二 大橋剛之
河合利恵 関 大祐
吉田倫太郎
(弁ク) 濱田百合子 櫻田 賢
権正英樹 岸本達人
小田原敬一 美川公司
中川裕幸 河部康弘

監事 小川眞一(同友) 真田修治(弁ク)

相談役 (同友) 原田信市 吉田芳春
菊池新一 小川眞一
小池 晃 田辺敏郎
古谷史旺 丸山英一
石川 憲 小林正治
粕川敏夫 吉村俊一
井澤 幹
(弁ク) 木下實三 永井義久
川久保新一 渡邊一平
山川政樹 絹谷信雄
伊藤 進 須山佐一
鈴木 知 山川茂樹
山本晃司 塩野谷英城
中川裕幸

委員会

総務委員会

委員長 笹川 拓(同友)
副委員長 権正英樹(弁ク)
委員 (同友) 小野友彰

政策委員会

委員長 岸本達人(弁ク)
副委員長 井澤 幹(同友)
委員 (同友) 古谷史旺 小林 保

丸山英一 山崎高明
関 大祐
(弁ク) 中川裕幸 山川茂樹
山本晃司 今堀克彦
野崎俊剛 河部康弘

企画委員会

委員長 笹野拓馬(同友)
副委員長 小田原敬一(弁ク)
委員 (同友) 坂岡範穂 坂田 樹
(弁ク) 小國泰弘 櫻田 賢
美川公司

役員協議委員会

委員長 美川公司(弁ク)
副委員長 吉村俊一(同友)
委員 (同友) 茜ヶ久保公二 大橋剛之
河合利恵
(弁ク) 濱田百合子 山本晃司
櫻田 賢

調整委員会

委員長 長内行雄(同友)
副委員長 中川裕幸(弁ク)
委員 (同友) 小林 保 丸山英一
粕川敏夫
(弁ク) 井上 一 船津暢宏

研修委員会

委員長 谷口 登(同友)
副委員長 河部康弘(弁ク)
委員 (同友) 萩 弥生
(弁ク) 権正英樹 内野則彰

弁理士連合クラブ会則

(昭和62年9月29日創立総会、即日施行)

第1章 総則

(名称)

第1条 ・本会は、弁理士連合クラブと称する。

(目的)

第2条 ・本会は、知的財産権制度及び弁理士制度の改善と向上を図ることを目的とする。

(組織)

第3条 ・本会は、第2条に掲げる目的に賛同する弁理士団体及びその団体に属する弁理士をもって組織する。

(事務所)

第4条 ・本会の事務所は、東京都に置き、その場所は幹事会が定める。

(入退会)

第5条 ・本会に入会し又は退会する弁理士団体は、入会届又は退会届を幹事会に提出し、その承認を得なければならない。

第2章 総会

(総会)

第6条 ・総会は、定時総会と臨時総会とする。
・定時総会は年2回2月、並びに8月、9月又は10月に開き、臨時総会は随時開く。

(権限)

第7条 ・総会は、次の事項を審議する。
1) 予算の議決及び決算の承認に関する事項
2) 会則の制定、変更又は廃止に関する事項
3) 役員、相談役及び顧問の選任に関する事項
4) 日本弁理士会役員候補の推薦に関する事項
5) その他、幹事会において総会に付することを相当と認めた事項

(召集)

第8条 ・総会は、幹事長が召集する。
・総会招集通知には、会議に日時、場所及び会議の目的事項を示さなければならない。

(議長及び議事)

第9条 ・総会の議長は、幹事長をもってこれに充てる。
・議事は、出席会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長がこれを決する。

第3章 役員

(役員)

第10条 ・本会に次の役員を置く。
1) 幹事長1人
2) 副幹事長若干人
3) 幹事若干人
4) 監事若干人
幹事長は、日本弁理士会の会長又は副会長を経験した者でなければならない。
役員は、総会において選任し、その任期は、選任された年の翌年1月1日から12月31日までとする。

(幹事会)

第11条 ・幹事長、副幹事長及び幹事で幹事会を組織する。
・会務の執行は、幹事会がこれを決する。
・議事は、出席した副幹事長及び幹事の過半数をもって決し、可否同数のときは、幹事長がこれを決する。
第11条の2 ・幹事長及び副幹事長で正副幹事長会を組織する。

(幹事長)

- 第12条
- ・幹事長は、幹事会を招集し、その議長となり、幹事会を統括する。
 - ・幹事長は、本会を代表する。
 - ・副幹事長は、幹事長を補佐し、幹事長に事故があるときは、弁理士登録の順序により幹事長の職務を代行する。

(報告等)

- 第13条
- ・幹事長は、委員会に出席して、会務の状況を報告し、又は意見を述べることができる。

(監事)

- 第14条
- ・監事は、本会の財務を監査する。

第4章 委員会

(委員会)

- 第15条
- ・本会に次の委員会を置く。
 - 1) 総務委員会
 - 2) 政策委員会
 - 3) 企画委員会
 - 4) 役員協議委員会
 - ・幹事会は、必要に応じて特定の事項を行わせるため、特別委員会を置くことができる。

(委員選任)

- 第16条
- ・委員は、幹事会において選任する。
 - ・委員の任期は、選任された日から選任された年の12月31日までとする。ただし、特別委員会の委員の任期は幹事会が定める。
 - ・委員の任期が満了した場合においても、後任者が就任するまでは、なおその職責に任ずるものとする。

(正副委員長)

- 第17条
- ・委員会に委員長1人、副委員長若干人をおく。委員長及び副委員長は、毎年最初の委員会において委員が互選する。
 - ・委員長は、委員会を招集し、その議長となり、委員会を統括する。但し、毎年最初の委員会は、幹事長がこれを召集する。
 - ・委員長は委員会を代表する。
 - ・副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、弁理士登録の順序により、委員長の職務を代行する。

(委員会の会議)

- 第18条
- ・議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長がこれを決する。

(委員会の職務)

- 第19条
- ・各委員は、次の事項を行うことを職務とする。
 - 1) 総務委員会は、会員の連絡及び会議場所等の設営、会議の開催に関する事項、その他、他の委員会に属さない事項を行う。
 - 2) 政策委員会は、日本弁理士会の会務執行上の諸政策についての調査、研究に関する事項を行う。
 - 3) 企画委員会は、本会の運営の改善及び新規会員の増加策等の調査、研究並びに機関誌の編集、発行に関する事項を行う。
 - 4) 役員協議委員会は、日本弁理士会の役員選挙に関する事項を審議し、選挙運動の統括を行う。

第5章 相談役及び顧問

(相談役及び顧問)

- 第20条
- ・本会に相談役及び顧問をおくことができる。
 - ・相談役は、本会の幹事長を経験した者、日本弁理士会の会長又は監事長若しくは常議員会議長を経験した者の中から選任する。
 - ・相談役は相談役会を構成する。
 - ・相談役会は、会務について幹事長の諮問に応える。
 - ・相談役及び顧問の任期は、選任された日から選任された年の12月31日までとする。

第6章 会計

(会計年度)

第21条・本会の会計年度は、毎年1月1日に始まり、12月31日に終わる。

(特別会計)

第22条・日本弁理士会の役員選挙に関する費用の支弁は、特別会計とする。

(経費)

第23条・本会の経費は、本会の属する弁理士団体の分担金、寄付金その他の収入で支弁する。

(監査報告)

第24条・監事は、監査を定時総会で報告しなければならない。

第7章 規則の制定

(規則の制定)

第25条・幹事会は、会務の執行上必要と認めた場合には、幹事会の決議により規則を定めることができる。

第8章 会則等の改正

(会則の改正)

第26条・本会則を改正するには、総会出席会員の3分の2以上の同意がなければならない。

(規則の改正)

第27条・規則の変更又は廃止は、幹事会の決議により行われなければならない。

附 則

1. この会則は、昭和62年9月29日から施行する。
2. 昭和62年度の役員及び顧問の任期は、昭和62年9月29日から昭和63年3月31日までとする。
3. 昭和62年度の会計年度は、昭和62年9月29日から昭和63年3月31日までとする。
4. この会則の一部改正は、平成5年5月17日から施行する。
5. 平成5年度の相談役の任期は、平成5年5月17日から翌年3月31日までとする。
6. この会則の一部改正は、平成11年5月21日から施行する。
7. この会則の一部改正は、平成13年1月25日から施行する。
8. この会則の一部改正は、平成15年8月8日から施行する。
9. ①この会則の一部改正中第10条の規定は、平成16年9月22日から施行し、第6条、第16条、第20条、第21条の規定は、平成17年1月1日から施行する。
②平成16年度の会計年度は、平成16年4月1日から平成16年12月31日までとする。
③平成16年度の役員、委員、相談役及び顧問の任期は、平成16年4月1日から平成16年12月31日までとする。
10. この会則の一部改正は、平成19年2月27日から施行する。
11. この会則の一部改正は、令和2年9月2日から施行する。

弁理士連合クラブ慶弔規則

第1条(目的)

この規則は、弁理士連合クラブ(以下本クラブという)会員又は会員以外の弁理士の慶事、弔事、罹災等に関して、本クラブが祝意、弔慰を表わし、あるいは見舞いを行うに当たっての基礎を設けることを目的とする。

第2条

(1)慶事に関する祝意は下記の方法によって表わす。

(i)会員又は会員以外の弁理士が叙勲を受け、褒章を受章したときは祝電

(ii)会員が結婚したときは祝電

(2)会員の慶事に本クラブが招待されたときは、幹事会の決定に基づいて金員を贈り祝意を表わすことができる。

第3条

弔事に関する弔慰は下記の方法によって表わす。

(1)下記の者が死亡したときは弔電

(i)会員

(ii)会員以外の日本弁理士会会長又は副会長経験者

(2)下記の者が死亡したときは弔電のほか花輪、生花又は香典

(i)本クラブ幹事長又はその経験者

(ii)会員であって、日本弁理士会会長又は副会長又は監事長並びに常議員会議長若しくはそれらの経験者並びに日本弁理士会委員長の5回以上の経験者

(iii)会員以外の者であって日本弁理士会会長経験者又は現職の日本弁理士会会長又は副会長

第4条(罹災)

下記の者が、病気、怪我その他の事故等の罹災により、2ヵ月以上執務し得ないときは品物を送り見舞いの意を表わす。

(1)本クラブ幹事長又はその経験者

(2)会員であって、日本弁理士会会長又は副会長又は監事長並びに常議員会議長若しくはそれらの経験者並びに日本弁理士会委員長の5回以上経験した者

第5条(額の決定)

この規則における弔事に関し贈られる花輪、生花、香典及び見舞いのために贈られる品物の金額は、幹事会において予めこれを定める。

第6条(特則)

この規則に定めない事項に関し、幹事会において慶弔の意を表わす必要があると特に認めるときは、幹事会の決定によってこれを行うことができる。

付則

この規則は平成元年1月17日より施行する。

この規則の一部改正は平成13年1月25日から施行する。

「特別寄付金」を求めるときの 運用基準

(目的)

第1条 この運用基準は、弁理士連合クラブ（以下、本会という。）の会務運営に必要な特別寄付金について定める。

(対象者)

第2条 特別寄付金を求める対象者は、日本弁理士会会長、同副会長、同監事長、同副監事長、同常議員会議長、同副議長、本会の幹事長、同副幹事長及びこれらの経験者（本会設立前の経験者を除く。）とする。

(基準)

第3条 特別寄付金の基準は以下のとおりとする。

1. 日本弁理士会会長又は同経験者……………年6口
 2. 同副会長又は同経験者……………年2口
 3. 同監事長又は常議員会議長若しくは同経験者……………年4口
 4. 同副監事長又は副議長若しくは同経験者……………年1口
 5. 本会の幹事長又は同経験者……………年3口
 6. 同副幹事長又は同経験者……………年1口
- 1口10,000円とする。但し、幹事会は諸般の事情を考慮して金額の増減を行うことができる。

(適用順位)

第4条 対象者が前条で定める基準に複数該当するときは、口数の最も多い方を適用する。

(求めの方法及び時期)

第5条 特別寄付金の求めは、年度初頭に定める本会予算に基づいて毎会計年度中に行うこととする。

第6条 この運用基準は、原則として満70歳以上の者については適用しない。

- 《注》・平成12年度第7回幹事会（平成12年12月21日開催）で決議
・平成12年度第2回総会（平成13年1月25日開催）にて報告
・平成12年度第8回幹事会（平成13年3月29日開催）で、第6条の追加を決議

編集後記

本年度も、機関誌「連合」No.35を無事に発行することができました。これもひとえにお忙しい中ご寄稿いただきました先生方のおかげであります。改めて感謝申し上げます。特に、日本弁理士会会長の鈴木一永先生、日本弁理士クラブ幹事長の石橋良規先生、西日本弁理士クラブ幹事長の中川雅博先生には、弁理士連合クラブの旅行会・ゴルフ大会にもご参加いただき、深く御礼申し上げます。

本年度の旅行会・ゴルフ大会は、「美肌の湯」であるとともに「宇奈月温泉事件」で有名な宇奈月温泉で開催いたしました。初日には宿泊先である「延対寺荘」で大瀬佳之先生による研修会を行う予定でしたが、あいにく新幹線の遅延により研修会が開催できず、懇親会のみで開催となりました。研修会の準備をしてくださった大瀬佳之先生には、改めて御礼を申し上げます。

二日目は、旅行会とゴルフ大会に分かれ、旅行会は黒部峡谷トロッコ電車での観光、魚津埋没林博物館の見学の後、海の駅蜃気楼にて浜焼きをご堪能いただきました。ゴルフ大会では、加藤俊輔氏が設計を手がけた「棚山ゴルフ倶楽部」にて、皆さまにプレーを楽しんでいただきました。参加者の皆様には、自然豊かなコースをご堪能しつつ、三派交流を深めていただけたのではないかと思います。

本機関誌の表紙には、トロッコ列車が宇奈月駅を出発して最初に渡る真紅の鉄橋である「新山彦橋」の写真を採用しました。この写真を撮影してくださったのは笹野幹事長でありまして、この場を借りて御礼申し上げます。

最後になりましたが、幹事長の笹野拓馬先生、担当副幹事長の小國泰弘二先生、企画委員会の皆様（委員長の権正英樹先生、委員の岩田耕一先生、小田原敬一先生、春日部仁之先生、青木博先生）には、多大なるご協力をいただきました。この場を借りて改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

（企画副委員長 坂岡 範穂）

弁理士連合クラブ会報
連 合

No.35

令和7年3月吉日

発行 弁理士連合クラブ
編集 弁理士連合クラブ企画委員会
制作 ㈱文寿堂
Tel.03 (3948) 6631

弁理士連合クラブ